愛國婦人

毎月五日二十日發行
一部三錢五厘　一ヶ月七錢半　年分四拾貳錢　全國無遞送料
廣告料　一行六十錢　本號全部禁轉載
東京麴町區(牛ヶ淵公園)　發行所　愛國婦人發行所
印刷兼發行人　山澤俊夫
編輯人　竹内貞三

愛國婦人

女訓に就て

三輪田高等女學校學監　文學士　三輪田元道

凡て敎訓は古い程威力を有するものである、先づ幾百年の春秋を經たる今日尚廢滅に歸せざる敎訓は、其の敎訓中に或る價値を有する事を證明する。此意味よりして敎訓は新しきよりも寧ろ古き方こそ修養上安心して之れに賴る事の得られるのである。勿論新しき者は槪ね社會の發展進步に應ずるのであるから有益なることが多いが、併し時としては甚だしき危險を含有せずとも限られない。例令或る敎訓の如きは其の時代に於て盡大の信用を有し、社會革進の動機の一部をなしたのは事實である。けれども今日より見れば、非常に卓越なる部分もあるが、又大に危險なる點も慥に認めらるゝ事がある、故に現今の社會に於ける種々の訓言の如き、殊に女訓に關するもの、如きは新なるものを歡迎すると同時に、弊害無きや否やを十二分に注意仕なければならない。

之れに反して古き敎訓中には古き丈に過去の時代に必要にして現代には不必要不價値なる者もあれど、夫は一讀して歷然と判明する。故に斯くの如きものは單に讀過して只參考に資するのみで、謂はば讀み棄てに仕てい、のである。且つ過去の敎訓にして若し不合理のものもあらば、直に棄てゝ顧ずともいゝのである。

加之、古來今日迄我等が棄ずしてとるべき敎訓なれば、益々其の價値を現はすので、例令ば太陽が幾千百年に亘りて尚且つ日々に我々の暗道を照すが如くであらう。要するに古き者の硏究は決して等閑にすべきものでは無いのである。

吾等の敎訓を硏究するに當つては、歷史的並びに理想的の二方面から出立すべきことを忘れてはならぬ。前者は讀んで字の如く、其の當時の社會の有樣、國民の要求、作者の地位等を細に硏究し觀察して因果の關係を發見すべきである、然らざれば大なる危險に陷る事があるのである。されば現時の日本に於ける夫婦の關係、婦姑の關係、婦人の社會上に於ける地位、天職等の如きも歷史的に硏究するときは大に發明することが多からうと信じます。

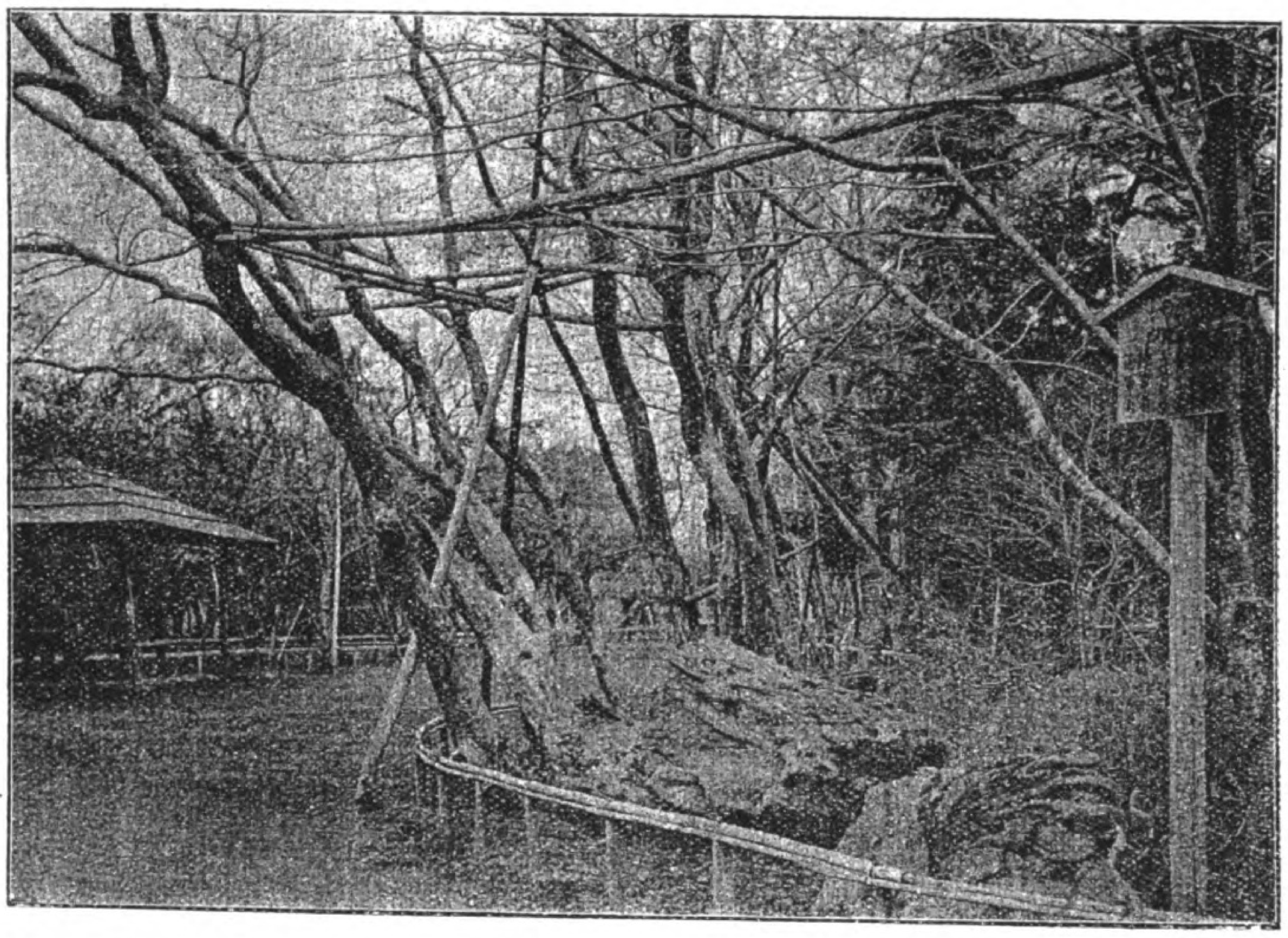
又理想的硏究は時代の發達進步を助くる上に、あづかつて力ある者であるから一日も忽にするべからざるものだが、而し其の標準を誤る時は、彼の前述の敎訓の如くに、其の時代の國民を迷はしめ、墮落せしめ、甚だしきは社會の秩序を亂し、國家の存立を危くするものである、故に愼重に愼重に加へて硏究して行かねばならぬのである。

兎も角も歷史的の女訓を硏究することは現時の社會に緊要なる事と信ずるのであるが唯注意すべきは古の敎訓とて必ずしも總てが金科玉條であると思つてはならぬ。前述の如く不必要の點もあるべく不合理の所もあるであらう。これ等を撰擇し、陶汰して惡きを棄て、善きを取るの心懸けが更らになくてはならぬ。

之れを例ふれば古き敎は山中の砂金である。砂は皆是れ黃金ではない、之れを篩ひ、之れを洗滌して初めて貴き黃金は得らるゝのである。

古き女訓を讀むもの、呉々も前述の如く往時の時世を知得し、又これに同情し尚且作者の地位、社會の狀態等を參酌してこれを適當に解釋し、而して現代に應用する事を忘れてはならないのである。

靖國神社後庭の梅



◎梅の歌

佐々木信綱

烏梅能波奈、佐吉多流僧能能、阿遠也疑波、可豆良爾須倍久、奈利爾家良受夜。

烏梅能波奈、伊麻佐可利奈理、意母希度知加射之爾斯弖奈、伊麻佐可利奈理。

和何則能爾、宇光能波奈知流、比佐可多能、阿米欲里由吉能、那何列久流加母。

烏梅能波奈、佐企弖知理奈婆、佐久良婆那、都伎弖佐久倍久、奈利爾弖阿良受也。

可須美多都、那我岐波流卑乎、可謝勢例杼、伊野那都可子岐、烏梅能波那可毛。

烏梅能波奈、伊米爾加多良久、美也備多流、波奈等阿例母毛、左氣爾于可倍許曾。

梅は上古から我國に在つたものであるか如何かと言ふ事は疑問であつて、田安宗武卿は古來日本に產したものと主張され、田安卿と師弟の關係がある加茂眞淵は、支那から渡來したものである、かの萬葉集を見ても關西には梅の歌が多く、關東に少いのが良證據であると說れる。

夫れは兎も角もとして、前に掲げた歌は聖武天皇の天平正月十三日に筑紫は大宰府の權帥大伴旅人卿の邸宅で催された梅の宴で讀まれた歌で、此折宴席に侍つたのは三十六人、其の歌は皆萬葉集に出て居るが、其中で宜いと思ふのを五首だけ選んだのである。

先づ第一の歌は、陽春の時期となつて梅は咲き柳はもえ、梅柳をこぎませて挿頭にする折となつた、此の時節にお互に遊び樂しむは何たる愉快な事であらうと言ふやうな意味で、第二の歌はこれも親しき友の間柄を歌つたので、シテナと云ふはシテンの意、二の句と五の句とに同一の詞を繰り返したのは情の切なるを現はすので、切なる情を言ひ現はす爲めには、多くこの繰り返しが用ゐられて居る第三のは旅人の歌で、流石に漢詩の造詣深き人の事とて、散る梅花を誇張して巧みに天空から雪の降るのに譬へた秀歌である、第四は快樂主義の歌で支那的の樂天思想が充分に含まつて居る、即ち梅の花が散つても後には又直に櫻の花が咲くではないか、夫れて世の人とてクヨ〳〵と言ふものではないとの意を現はすのである、眞に梅を愛すと云ふのは第五の歌で、これは單に梅を愛する意、最後のは有名な山上憶良の歌で、イメは夢、コソは願うの意、全體の歌の意味は、梅が夢に語つて曰はく、自分は實に風雅な花と思ふのでどうか酒盃の上に浮べてくれ、と言ふので、之れは擬人法に依つて最も巧に梅の言葉を使つた秀歌であつて斯の如く巧妙なものは、中々に稀で流石に憶良の歌と感せられる。

說き來つてこゝに至ると、一千三百餘年の昔の事ではあるが、淸楚たる梅林に對して三十六人の騷客が各々繡腸を絞り酒盃を飛ばした其日の光影が髣髴として眼前に現はるゝの心地がある。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

徳川家康公の家庭教育

原胤昭

家庭教育なんぞと云ふと、極く新しい事のやうですが、昔の方々もそれ〲此の意見は有つて居られたのでございます。徳川家康公が駿府に御隱居ありて後、一度江戸に御出になり、二代將軍秀忠公の御家庭を親しく御覽あり、其後駿府へ御歸府になつてから、將軍家の御臺所へ御送りになつた御親翰の一節に、

一　幼少の者利發に候とて、立木のまゝに育て候へば、成人の節氣隨我儘ものに成り、多くは親の申事も聞かぬ者にて候。親の申す事さへ聞かぬ様に成り候へば、召使候者の申事は猶以の事。左候へば、後は國郡を治め候ことは扨置き身も立ち申さぬ様に成り申候。一體幼少の節は何事も直成るものに候まゝ、如何様に窮屈に育て候ても、最初より仕附け次第にて、外より存候程は大儀にも無く候。是を植木に譬へ候へば、初二葉をかひ割候節は、人の產立と同じこと故、隨分養育いたし、最早一二年もたち、枝葉多く成り候節添木致し直に成り候様に結立て、其内に惡しき枝は缺き取り、年々右の通りに手入れ致し候へば、成木の後直なる能き木に成り候。人も其通り四五歲より添木の人を附置きて、惡しき枝を我儘に育てぬ様に致し候と、後直に能き人と成申候。幼少の時は育てさへ致せば能きと心得、我儘に致し置き、年頃に成り急に異見致し候ても、我儘の惡しき枝ばかり茂り、本木は失せ候事故直り不申候。是には今以て存じ出で候事有之候。三郎出生の節、年若にて子供珍しく、其上ひかゐす(尫弱)故、育ちさへすれば能きと心得、氣の詰り候事は致させず、氣儘に育て、成人の上急に色々申聞け候へ共、兎も角幼少の時、行儀作法ゆるやかに捨置き親を敬することを不存、心安く存じ後は親子の爭ひの様になり候て、每度申ても聞入れず、却て親を恨み候様に成行き申候て、夫れに懲り申候まゝ、外の子供は、幼少より我等が前にて行儀作法能く仕附け候者共へ申附置き、若し少しにても不行儀我儘の事は我等へ隱し不申、逸々申聞候様に申付置き候て、承り置き、前に出で候節、每度或は叱り又はかやうには致さぬものぞと逸々申聞け候故影日向なく直に育ち申候。其上小身の者と違ひ召使候者の申事を能く承り候様に申事專一に申聞け候事に候。親の有る內は愼み候へども、親の居ぬ時節に成り我儘となり、國郡を失ひ候者、古より多く有之候。兎角常々側にて召仕候守の者、第一に孝行と天命と下へ慈悲をかけ武家の事幼少より申聞け候へば、自然と身持能く成り候ものにて候。

誠に意味深重難有き家庭教育の方針ではありませんか、貧富貴賤の別こそあれ、子を育つるの道は、此の御趣意の外はありません。子供は●か●ひ●割の二つ三つ若葉を生じた草木と同じ事で、添木となる父母又は之を育つる兄姉とか、伯叔父母とか云ふ者の活た手本の通りに育つものでございます。

神君御親翰の意味は實に能く讀み能く學びて敎を蒙るべき文字であります。

(「母と子」の一節)

孤兒院に就て

東京高等商業學校長 貴族院議員　澤柳政太郎

▽西洋人にない義理の心

日本人には古來から義理とか人情とか謂ふ心が深く堅く染み込んで居る。勿論理窟の上から言つたならば、現今普通一口に義理だ人情だと言つて居る事柄が、果して誠の義理、誠の人情と謂ふ事に當て嵌つて居るか什麼かは疑問である、自利心を加味した義理、自己の名譽を單位として計算された人情が在りはせぬかと謂ふ恐れもあるが、兎も角も日本人に義理てふ美しき心の深いのは、我々の歐米國人に對し誇り得べき美點であつて、之れは文化を誇る西洋諸國に於て見られぬ處である。

▽浦山敷からぬ孤兒院

歐米諸國に行つて見ると、各國至る所に宏大な孤兒院や、養育院やらが政府の手に依つて建てられて居る、如何にも堂々たる者で、日本では斯の如きは到底見られぬ處であるから、之れを見て來た人は直に、遽に西洋人には慈悲心が深く大きな孤兒院があり、養育院がある、設備が如何にも整頓して居る、日本人には慈善の心が淺いから、こんな慈善事業の大きなのが無い等と攻擊して來る、之れは甚だ誤つた攻擊、一を知つて十を知らない見解であつて、歐米諸國に如何程堂々たる孤兒院があらうとも、如何に巍乎たる養育院があらうとも少しも浦山敷からぬ事である。

▽無きは在るに勝る

何故かと言へば、西洋人には古來義理の心が薄い、法律に命令された範圍內の事ならば兎も角、夫れ以外の事であれば朋友親族互の爲めに相助け合ひ、義理の爲めに鰥寡孤獨を憐み救ふと云ふ現象は餘程稀であるから、此處に不幸な孤兒や老人等が在ると、よし舊故姻戚ありとも路頭に迷ふ事となる、而も貧富の懸隔が最も甚だしき歐米諸國に在つては、此の類の輩が非常に多いので、自然政府は之れを放任して置く事は出來ず、進んで自ら救ふの策を講ずる必要が生じて來る、何も政府親ら求めてかの如き壯大なる孤兒院を建設して多額の費用を投じたくは無いが、國治上、社會政策上餘儀なくさるゝ義で在る、然るに我日本國に於ては前述の如く昔より義理人情と云ふ詞を尊んで、舊故互に相助け相救つて行くので、賴る所なく路傍に倒るゝと云ふ不運の者は比較的に尠いから、政府に於ても未だ堂々たる孤兒院等を建てゝこゝに收容する必要もなく、唯私設の慈善團體位にまかせて置けば夫れで濟む事になる、爰に於て孤兒院の西洋に完備して居るのもよしあしで、自分は却つて無きを勝るとするのである。

▽之れは嘆はしき事

けれども日本國だからとて絕對に孤兒院や養育院が必要でないと云ふのではない、是非篤志家の盡力に待つて救濟して行かねばならぬ不幸の人も居る。ところが愛國婦人會は別であるが、日本には大きな慈善團體が起らず、各自小さく割據してやつて居るのは如何かと思ふ、今一つ例令爰に新しく一個の慈善團體を起して金錢でも募集する場合に於ては、警視廳やら何やらの許可を得なければならないのは嘆はしい次第で、この如き規定が西洋諸國に有るか無いかは知らないが、苟も公共の利益、特に慈悲善根を施すを目的とする團體が、其筋の許可を受けなければ成立する事が出來ないと云ふのは理論上在る間敷事である、而し之れは餘りに慈善の二文字を亂用した結果、往々此の假面の下に隱れて社會に害毒を流す者が出來たので、このやうな事になつたであらうが、兎も角是れ等は我國に於ける慈善事業の爲めに嘆息すべき現象と信ずるのである、(文責在記者)

△秦西婦女訓

◎妻は家庭を愉快ならしむ可く勉めよ然らずんば主婦は無意味の者と成り了せむ

◎子孫の爲めに天が婦人に與へたる至高至美の性質は其の燃ゆるが如き愛にあり

◎愛は普遍的原則にして最も清く美しき者なり 人類の悲哀に對する唯一の醫藥なり

◎同情は家庭の愛情と和合との唯一の連鎖なり此同情なき家庭は幸福なる能はず

◎よき婦人となるの途は只一つあり他なし 己より高尚なる婦人を求めて模範とするにあり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講演

英米佛 婦人の比較

三谷民子

この一篇は麴町區上二番町女子學院内の一室で、「ヘイ去年の十月に梨本宮殿下がたと御同船で歸朝つて參りました。前の洋行は專ら教育學の方面を研究致します爲めでありましたが、此度のは漫遊と言ふ趣向で。約一ケ年半歐米に居りました」と、流石は歐米仕込みの如才ない。温かな態度で御話になつた三谷氏の御說の一節であります

▲開發的な米國婦人

萬事に積極的な國柄にも依りましやうが、米國の婦人は一般に開發的で、擧動が兎もすると生意氣と評される位に活潑であります。又女子敎育の事は大變進歩して居りまして、若い女子を持つた親達が心を痛めますのは、敎育を授くるか如何かと言ふ問題ではなくて、何處のカレーヂ(分科大學)に入學るかと言ふ學校の科目の撰擇と若し入學れなかつたらとの心配ださうであります。而し絶對に女子の學問を排斥し、女子を學校に入學るのを嫌ひ、家庭の内で直覺的に家政の事を敎へる方が宜しいと言ふ人も在ります。

▲贅澤な女學生

歐米の諺に『亞米利加女に、英國男』と申して、米國の婦人は世界の理想の婦人と申しますが、遉に身の熟かたから衣服の着け方などが大變に上手で、其上非常に華美でありますので、カレーヂの食堂等に參りますと各々艶を競ひ美を爭つて丸で交際場裡にでも出たやうな心地が致します、それは〳〵贅澤なものであります、これでは生徒の親方が餘程高價な犧牲を拂はなければ出來ないわけで在りますが、一寸贅澤な女學生になりますと、カレーヂの内に寄宿を致しますのに宅から馬車を引き伴れて來て、校内には馬や車の置所が在りますので授業中は其所に置いて、休みの時間には夫れに乘つて、自分手づから鞭を取つて乘り廻したり、或は自働車で通つて、休憩の時間には電話で馭者を呼び寄せて走せ廻つたり致して居ります、何にしろ授業時間は大概一日一二時間で、其外の時間は皆交際社會に出づる準備――御稽古に忙がしいやうな有樣で、贅澤を極めて居ります。

▲苦學の女生徒

では在りますが、中には又苦學をして居る女生徒もありまして、自分の入學つて居た學校でも、羊飼をして勉强して居つた人もありました、其外四五人の生徒が組を造つて學校の内で洗濯屋を開業て居るのも在ります、洗濯に要する物品は學校から相當の損料を拂つて借りるのであります、又自分がほんとうに米國らしいと可笑しく感じましたのは、女學生が學校内で菓子を造つて賣ります事で、皆んなが校内で爭つて買つて喰べます、これは日本などでは所詮行はれない事でありますが、さすがに自治の觀念の深い米國の事でありますから、カレーヂに入學る人は皆自ら自分の事を行ふの智識があるものと見て放任してあるので御座います。

何にしろ生徒の數も一千二三百人から有りますので、菓子の賣れます事〳〵、其中でもファーヂと言ひます、日本でならばアルヘー糖見たやうなのが一番良く賣れるやうであります。

カレーヂの入學期は重に六月、夏の初めの頃であります。

▲能も似よつた日英婦人

御承知の如く米國は新開の國でありまして、土着の人は甚だ稀で、大概は獨逸なり、佛蘭西なり、或は伊太利、露西亞など外國から移住して來た人の集りでありますから、米國人の外國人……我々日本人等に對します態度も馴々しいもので、一寸道を尋ねましても親切に敎へて呉れ、宴會の席上等でも直に朋友となるやうな有樣でありますが、海を渡つて英國に參りますと、これは又英國氣質で何事も慥に見定めてからで無くては懸らない、心を滅多に許さぬと言ふ氣質が在りますので、一寸と見ますと中々に近寄り難い處があり、宴席などでも眞に手持ち無沙汰になつて了ひますが、深く交際しましてお互に心の内を讓り合ひますと、中々に質素で親切で、眞面目で、品性が高いのが判りますので、安心して有益な一生の朋友となる事が出來ます。これは日本での出來事でありますが、英國大使館に御座る或る夫人が滿一ケ年日本に居なさるけれど、日本の婦人がどんな氣質を持つて居るか、どんな趣味を持つて居るか等がさつぱりお分りにならなかつたが、或日横須賀港かに軍艦を見にいらつして、艦中の大砲の前に立ち、この大砲の丸はどんなものだらうと思はず獨言なさいますと、不意に側から流暢な英語で、夫れはかく〳〵ですと說明する女が在るので、振り返つて見なさると、それが日本の婦人で在つたので、其の瞬間夫人は倒れる程吃驚なさつたさうで、之れは日本の婦人が是等の事にも智識を持つて居ると云ふ事が初めてお判りになつて驚きなさつたのでありますが、その後是非日本の婦人と朋達となりたいとのお望みで私等の學校で集會を開きお互に遠慮なく話し合ひ、續いて琴や何かの和樂を御聞かせ致しますと、非常な嬉で、其後は日本婦人をほめちぎつて日本婦人は實に親切で、品性が高く、智識もある、一見近附けない無口のものとばかり思つて居たのは大變な間違で、よく我が英國の婦人に似寄つて居る、どうか將來共日本婦人方の交際が願ひたいと大變なお嬉びでありました。

この夫人の說の如く、英國の婦人と日本の婦人とは性格がよほど似寄つて居ります、東西洋を異にし、人種を異にして居りながら能くもかく迄似たものと不思議に思はれる位であります。

▲藝妓と見立てる佛蘭西婦人

佛蘭西の都の巴里に參りますと、之れは又世界流行の源泉と言はれますだけに米國以上の華美さで、女が見ても惚れ惚れするやうな婦人が澤山に往來しますが、自分の見ました處によりますれば、米國での華美は將來の希望に滿された華美でこれから發展して行かうと云ふ餘裕の含まつて居る華美でありますが、此處のは餘裕の無い華美、切りつめた華美であつて、身を切つても人前をつくらうと云ふ輕薄な點が在るやに感じました、之れを日本婦人に譬ますれば英國の婦人は大名のお姬樣、米國の婦人は町風の孃さん、佛蘭西の婦人は藝妓と見立てまして如何かと思ひます、要するに佛蘭西の婦人はどうも道德上、品性上の朋友とするに足りないかと疑ひます。

▲奈良漬と澤庵と新漬

これは一場の笑話で在りますが、自分は朋友と佛蘭西の婦人は奈良漬、英國の婦人は澤庵漬、米國の婦人は新漬のやうだと話しました事が在りますが、奈良漬は一寸口當りは能いが、喰べ過ぎますと酔つて苦しまねばならぬ事となり、新漬は一寸はいゝものでありますが、直に嫌になりましやう、日々の食膳で厭かないのは、見懸けは惡るく一寸手が出ませんでも、澤庵漬であらうと思ひます。

○上杉鷹山女公女訓

「……第一は言葉を愼み給ふべきなり。白圭の玷きたるは猶磨きうべし。此言のかけたるはをさむべからずといへり。すべて物ごしにたゞに人の氣はひは知らる。心のまがれる直きは言葉もて顯る、既に言の葉に出ではゞは、後に悔めども甲斐なき事なるべし。――古訓にも言葉すくなきを女の德とすれば。口重げなるは口さがしきより增れり。易といへる書にも、善人の言葉はすくなく、騷がしき人の辭多しといへり。身の榮え辱めも皆言葉の招く所なれば、樞機の發に榮辱の主ともなり一言の失より萬事の破れも出で侍るなれば、あなかしこ、言葉をば深くつゝしみたまはさらめや。」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

箏曲評釋 松の下風 (第壹號)

(一) 京都大學講師 池邊義象

●先づ取り總て言ふべきこと

一、我が國の家庭音樂として專ら行はるる十三絃箏曲は、もと支那より傳來せしものにて、九州地方に行はれそめしより、筑紫箏ともいへり、この箏に和して謡ふ歌は八橋撿校といふが作り成せるが多しといふ、撿校はもと奥州の人なるが、九州に來り筑紫善導寺の僧玄恕に從つて、箏曲の奥秘を傳授し、慶安の頃京都に卜居して、專らこの道を研究し、ます〳〵その極意を得て、箏曲中興の祖と仰がれし人なり、彼の生田、隅山、繼山、藤池等の撿校も、共にこの門に出でて各々流派を立つるに至りしものなり。

一、箏歌は源氏物語、伊勢物語、大和物語、古今集以下の歌集、及び白氏文集、唐詩選等の詞句を取り合せ綴り合せて節を成せるもの多し、されど今は一々その故事出典等を解せむとはせず、大體に於てこれを說明し合せてその組を成せる旨を評し見むとす。

一、余はもとより箏を彈奏し得ざるものなれば、歌詞と曲譜との調和に付ては、論ずる力なし、たゞ歌詞の組立につての卑見を述ぶるに過ぎざるなり。

一、この一編は撫箏雅譜大成抄、及箏曲大意抄等を重なる據として選述せり、されど雲井弄齋の歌は省きたり、これ評釋するに足らざるものなればなり。

(二)

◎表操

(一) ふき

(序)ふきといふもくさの名、めうがといふもくさの名、ふきじざいとくありて、冥加あらせたまへや、

ふきは栞蕗、めうがは茗荷なり、ふきじざいとくは富貴自在德なり、栞蕗と茗荷とを取出でたるは、その語呂の、富貴冥加に通ふが故なり、かゝる取成しは國歌に於ては、昔より數多ありて、珍らしきものにはあらず、されど二つの草の名を唱ふるまでは、何の意味も無きやうにきかせて、忽ち一轉して富貴自在德ありて冥加あらせたまへと、君德の萬民に及ばむことを願へるは、いかにもめでたき趣向ならずや、かゝることをや奇想天外より落つとも云ふべからむ、

(一)春のはなの琴曲は、花風樂に柳花苑、柳花苑の鶯は、おなじ曲をさへつる、

この段々、源氏物語花の宴の卷なる、殿上人たちの舞曲のさまをいへり、おなじ曲を囀づるとは、彼の卷なる春鶯囀の聲をきかせていへるなり、柳花苑のうぐひす、長閑なるありさま思ひやるにたへたり、

(二)月のまへのしらべは、よさむをつぐる秋かぜ、雲井のかりがねは、ことぢにおこるこゑ〳〵、

前段の陽艶なるに引きかへて、秋夜月寒き前に箏を奏すれば、ふく風雁の聲などの身にしむさまをいへり、ことちは箏柱にて、それをやがて雁にそよへたるなり、その緣によりて雲井の聲をいひいでたるは、更にあはれそふることちす、聲々といへるにて、鳴きつれてゆく雁のさまおもひやるべし、

(三)長生殿のうちには、春秋をとめり、不老門の前には、月のかげおそし、

天子萬年のありさまにて、慶滋保胤の句、朗詠にも出でゝ名高きものなり、原句は『長生殿裏春秋富、不老門前日月遲』とあるを、曲の調和上いさゝか替へあり、大内裏の長閑にて、君萬歳におはしませば、春秋も留まり、日月のかげもおそしとうたへるなり、

(四)こうきでんのほそどのに、たゞすむはたれ〳〵、おぼろつきよの内侍のかみ、ひかる源氏の大將、

この段も花の宴の卷の艶になまめかしき春夜のさまをいへり、朧月夜内侍と、源氏君との唱和を引出でゝ、情のつきぬさまをいへるなるべし、この時の源氏の歌は

深きよのあはれを知るも入月のおぼろげならぬ契とぞおもふ

内侍のは

うき身世にやがてきえなば尋ねても草の原をばとはじとやおもふ

(五)たぞやこのやちうに、さいたるかどをたゝくは、たゝくも、よもあけじ、よひの約束なければ、

夜中にさしかためたる門を叩くは誰人ならむ、宵の約束なければ、叩くともあけじと、たはれ男のみだりなる心に對して、貞節ある女の心ばえをうたへるなり、これも若紫の卷なる、

朝ぼらけきり立空のまよひにもゆきすぎがたき妹が門かな

といひ、

立とまりきりのまがきのすぎうくはくさのとざしにさはりしもせじ

とある時の趣をにほはせたるなり、

(六)七せきのへいふうも、躍らばなどか越えざらむ、羅綾のたもとも、ひかばなどかきれざらむ。

これは秦始皇の故事を引き來て、琴曲の德あることをいへるなり、始皇六國を滅し驕奢日々に增長するを、燕の太子丹憎みて、荊軻、秦舞陽といふ二人をして、始皇を刺さしめむとす、この時始皇今は遁るゝによしなくて、せめて愛妃華陽夫人の琴曲を、この世の名殘に聞きたしといはれしにより、之を猶豫せしに、夫人はやがて琴を撫でゝ『羅綺衣可裂而絶、可超而越、鹿盧之劍可負而拔』とうたへるに、二人の刺客は感に入つてありし中に、始皇ははやくも唱歌の意をさとり、後の屏風を躍り越えてゆかれしかば、刺客はたゞ僅にその袖をのみ切りて反つて殺されたりといふことあり、今は八尺を七尺に直してうたひかへたり、必竟はかゝる危き場を免れたまへるも琴の德なりといふにやあらむ、

この栞蕗は、初に君德の洽らんことをいひ、次に春の艶樂と、秋の感慨とを叙し、さて禁中の長閑なるさまに及びて、昔物語の艶になまめきたることを叙て、終りに遠き支那の故事を引出でゝ結とせり、必竟は琴曲によりて、人の心をあるは和らげ、あるは奮ひ立たしむるさま〴〵の感あるをいへり、首尾離れたるやうにて離れず、離れざるやうにて離れたるは、即ちうたひものゝ特色なり、

(以下毎號引續き掲載す)

◎樂器の初め

(一)

▽琵琶　この器の傳來は何れの時にありしか明かならず、されど奈良朝の初めにありし事は明かなり、その後承和年中遣唐使準判官藤原貞敏唐土に於て、琵琶博士廉承武より其傳を受けて歸朝し、この器大に行はるとあり。

▽和琴　神代にありて天の香弓六張を並べて絃を叩きしもの、後にこの器となりたるものにて、我邦固有の樂器なりと稱す、史に見えたるは續日本紀元正天皇の御宇養老五年正月の條下に、和琴師正七位下大忌田寸廣田の名を載せられたるが初めなり。一名を倭琴または鵄尾琴ともいふ。

▽箏　支那より傳來せし樂器にして、神農の所作とも秦の蒙恬の造るところともいふ、詳かならず、吾邦に傳はりしは、仁明天皇の承和年間に琵琶と共に藤原貞敏が傳へたりといふ、大同四年の官符に唐樂師十二人の中箏師の名のみ見えたれば、この說覺束なし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

花賣少女

藤園主人義象

梅田に着きぬ、汽車よりおりて、例の室に至り、かねて約しつる人を待ち居るに、花束いだける少女入り來て、これ一籠めしたまはずやといふ、見れば島高きとにはあらねど、賤しからぬ裝ひして、顔貌、はた、にくからず。

いふがまゝに一籠購ひ得て、さて、汝はいづこの園より、かゝるめでたき花を持ち來るぞと問へば、少女、こは人の園より得たるものにあらず、皆みづから種まき、みづから培ひて、おふし立てしものなり、我が園はこれより西十四五町の處に在りといふ、さはれ、汝一人のわざにはあらじ、汝が家には、いくばくの人ありて、これらの事を掌れるぞといへば、われには父もなし、母もなし、たゞ生れながらにして、花を好み、いまだ父母もありし頃より、つくりしが、この二年三年は、みづからも、能く成し得たりとおもふばかりの花ひらも出で來にければ、獨たのしまむも、貪るやうに思はれ、かく持ち出でゝ、賣るなりといふ。

少女が答のおもしろきまゝに、戯れに、汝は未だ他家に嫁ぎしことはなきか、又嫁がむとおもはずやといへば、頭うちかきつゝ、さ仰せらるれば、わがおもふことをいかでこと〳〵く申し盡さゝらむ、げに人のうつくしき衣、人のめばたき髪飾など見ては、われもさるべき他の家にゆきて、時めかされてむなど考へしこともありき、さはれ、つく〳〵思ふに、我が姿かたちの、なほならぬはさるものにて、おやさへなきこの身、もとよりしろかね、こがねの蓄あるべくもあらず、かかれば今やうの男たち、いかでめぐしうつくしみたまふべき、かくおもへばうきたる心彼に止みて、みづから好める花園に降りたち、こを培ひ生ふして露の命をつながむとぞなりにし、こは僅に數年の前なりしが、さてつく〳〵世のさまを見るに、身にこそ綾錦をまとひつれ、某の女はつねにその事ふる夫にしへたげられ、理りなきことも理りと聞き、憂ある時も憂なきかほして過せるあり、某女はその髪のかざりなどこそ世に得がたきものなれ、その身はつねに事ふる主の品くだれる心をこゝろとして、こま〳〵にうけ得し貴きたましひも、いつのまにかいといやしく、今は人につまはじきせらるゝ身となりぬ。

かゝれば良き人に添たらむには、この世にうまれしかひもあらむを、さる人あるまじければ、かくてひとり月日をおくるぞなか〳〵に心安げには侍るなる、但しこはたゞに女の世わたるさまのみにはあらじ、いかめしき男たちも、その心をまげて諛らひ、阿ねり世をすぐしゆく人いくばくぞや、妾はこの腕こそ小さけれ、もてる園地こそ廣からね、朝早く起きて、みづから鍬とり、夕〳〵に培ひそだてゝ、かくめでたく咲き出でつるを、みづから切り、みづから束ねて、花の笑まひを人々にわかてば、命つなぐばかりのしろは、おのづからに得られぬ、もとより人に頭下げて、いぶせき窓の中に、日をおくるにもあらず、心にもなきこといひて、僞りて世をわたらむともせず、おのづから咲く花を、おのづから好む心にうゑて、おのづから愛づる人に賣れば、誰にも恥ぢず、誰にもおそれず、天地の美を一人にてうくる心ちして、いまは初のほどに、うつくしき衣、めでたき髪かざりなどえまほしうおもひしことのおろかさをさとりぬ、そも〳〵花すらおのがいろ〳〵を咲きにほはするものを、人としていかで僞りかざり心にもなき事、言ひ〳〵て世をわたらむやなどいふ。

いきざしのはげしき、少女にも似ず、かつは道理あり、かつは言ひすぎたる口つきのにくしとおもふこともまじれば、更に問はまくほしうおもひつるほどに、約しつる人來て、再び汽車に乘らむとす、鈴の音ひゞきわたり、車のきしり、きしめくとおもふほどに、そのわたりさながら花畑となりて、ありし少女は翅をのして、その上を踏みわたると見えしが、俄に白雲おこりて、我もまた花の神に導きゆかれてなむ。

うつくしと見し一花の面影は
はるのこてふの夢にそありける

◎大道玩具の注意

文學士　倉橋惣三

▲パイプは嬰兒のオシヤブリ　▲有史以前から在るガラガラ　▲廢物利用の大道玩具

◎嬰兒が何でも物を口に入れるのは、生れて直ぐ乳房を吸ふので、唇の感覺が最もよく發達して居るからの事である。故に此時代の玩具としてはおしやぶりがある。

◎グロースと云ふ玩具學者は「大人が煙草を吸ふのも畢竟パイプを玩具にするのだ」と言つて居るが、成る程パイプは嬰兒のおしやぶりに當る。

◎おしやぶりの時代からがら〳〵に移る此がら〳〵は有史以前からある玩具で、現今でも埃及の古墳を發掘すれば、貝殼を合はして其の中に砂を入れて造つたがら〳〵が幾らも見出さるゝ。

◎がら〳〵は嬰兒の最も好むもの、之れを握つて振れば鳴る。即ち握るといふ觸覺、音を聞くといふ聽覺、形や色を面白がる視覺、此三者が凡て此一つの玩具に備はつて居るので、世界各國之の種の玩具の無い所はない。併し之が果して理想的のもので在らうか、此上發達の餘地はないかは疑問である。

◎近頃三越の玩具陳列會と云ひ、今春近く開催せらるべき農商務省の玩具展覽會と云ひ、玩具に對する研究の漸く盛に爲りつゝあるのは、誠に喜ばしい現象であるが、併し所謂玩具改良論者の多くは、四五歳位の稍發達した子供を標準とするのみで、一二歳以下の嬰兒に持たすべき物に就て、餘り注意を拂はないのは遺憾に堪へない。

◎故に子供の想像力や注意力、摸倣性、知識等を養成す可き精巧なる玩具は出來るが、一二歳以下の感覺を養成すべき玩具は、矢張り昔の儘である。

◎又高價な立派な玩具に就ては世人も注意するけれども、彼の大道玩具と稱する三四錢留まりの平民的玩具に對しては、殆んど顧る者が無い。而も兒童敎育の上から云へば、此大道玩具こそ、大なる影響を及ぼすもので、此方の改良が寧ろ急務であらう。

◎何故なれば、玩具屋に在る高價な玩具は、必らず父兄が選擇して買ひ與へるから、害が尠いけれども、大道玩具は多くは子供が自分で買ふので、萬一夫が惡いものであると、意外の害を齎らすのである。

◎殊に大道玩具には廢物利用のものが多い、縦令製造の上に何等の非難なしとしても、中には種々の惡感化を與ふるものがあるから、私は益々此方の改良の必要を認むるのであります。

◎梅だより

編輯小僧

梅一輪々々づゝの暖かさとやら。朝夕は餘寒の嚴しく候らへど、流石に春、日中の東風は厚氷影消えて、各所の梅園も漸く見頃となり居り候、先づ音に名高き臥龍梅は、舊臘より咲き初めたる冬至梅の外、薄紅の田毎と云ふ一株が半開、其他は老樹の早咲が一枝一輪の笑を漏すだけにて。見頃は月末頃。龜戸天神の梅は筆塚の飾りなる野梅二三株は既に滿開、池畔の側の若樹も二三分の見頃なれど、掛茶屋の赤毛布徒らに赤く、名物のくづ餅に澁茶一杯傾くる風流客の多からず、又次郎兵衛の梅とて昔より其名高き江東梅は、早咲四分、古木は中旬後、木下川梅園を書に問へば「二十日後に候」とあり、吉兵衛の梅は、表門に縦覽御隨意、紅鼻緒の麻裏草履新しく、茶汲む女の美しく文臺に筆硯、短册の用意こそあれ、矢張りこれも中旬後、其他向島百花園、向島華壇、角筈の銀世界、靖國神社、日比谷公園。遠くは湘南一帶の地、程ケ谷、和田の上、蒲田、大森、小向井、大師河原等、梅見る場所は多けれど、疎影暗香よろしきを得るは先づ〳〵下旬の事と花守の翁は語られ候、匆々敬具　（二月十日）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎挿花初歩

（二）

活方の事

こゝに活方の事を述ぶる前に當り、花器、花臺、花の道具等に付きて說明する必要があるけれども、夫は紙面の都合により止むを得ずこゝには略する事として一足飛びに活方の事に入ります。

さて前にも述べた如くに、池坊流の活方は、眞、副、體の三本を以て主とし、其に寸尺は花の大小に係はらず、三つ割一分の差をなすを法とします。又眞の枝とする物は假令中程にて如何樣に反つて居ても其先きと根とを垂線に見合せて活けます。眞はクバリの中央にさし、副は其後、體は前とします。四季折々に花の差はあるけれども此法則に變る處はありません。又花の寸尺は花瓶の大小にもより床の位置をも見合せ程よく定めなければなりません。

前に述べたやうに眞、副、體を定め、さて其中にあしらひの枝を、如何程にても見計らひて加へます。但しあしらひに付き注意すべきは、眞、副、體の寸尺より過ぎざるやうにして、程よく長短し、見恰好よくさすものであります。

葉蘭

挿花を學ぶには、先づ手始めに葉蘭から其法則を覺え、次に草花に及ぶを順序と致します。さて葉蘭の葉には陰陽の區別があり、何れも陽の方を見るやうにして活けます。初歩には五枚の葉を活け、次に七枚、九枚と云ふやうに追々に數を增します。陰陽を左に圖解しますと

葉蘭五枚　　左花

圖の如く眞の葉は横に見るやうにし、體の葉は中程より前に折りかへし、副の葉は斜に見る樣にします。活けて後は十分に水を入れて置きます。

七枚活けるも其法則は前に變る處はありません。五枚のやうに見計らつて、副と體との方へ一枚宛加へていゝのであります。九枚活けるも同じ事であります。

葉蘭七枚

花瓶はズンド又は薄ばた、廣口をも用ゐて差支ありません。次第に熟練して十一枚十二枚も活け、後には十九枚も活けたのは中々に匂ある花よりも氣高く見所あるものであります。又活上た水際から葉がある所まで大抵一寸餘と心得て間違はありません。是れも花の長短によつて見計らふことであります。

かく圖して示しますと、事でもないやうでありますが、中々思ふやうには行かぬものであります。指の先きもしびるゝばかり、時間も費し、心も倦みて、はては打捨んかと思はるゝ事もありましやうが、そこをうち念じて己れと工夫し、己れと磨き幾度となく數を活ければ、自らたやすく活けられるものであります。

洗方の研究

高山案述

高山氏は大分縣の人で少年の時から京都に赴いて染方や洗方の實地に付いて研究しその後神戸の一獨逸人の會社で科學的に染方や洗方の研究をなし大に發明する處がありましたが日露戰役の際陸軍々人として召集されて戰傷の爲めに不具の廢兵となられました。隻脚の身では多年研究した技術を以て居ても如何ともする事が出來ませんので爾後多年研究の結果を世人一般に知らしめやうと心懸け九州各縣に巡りて染方や洗方の講習をなし其後文部省の新尻視學官に知られて、四十一年の夏始めて上京して各女學校內に於て講習會を開き遂に麻布の御用邸の洗方に召し出されました。今度再び宮用の爲め出京されて現に高等師範學校長加納氏方に滯在し前近衞公爵夫人方に染方や洗方の教授中であります、本紙高山氏に依賴し洗方や染方に付き引き續き記述する筈であります。

（一）ハンカチーフの洗方

是れ迄皆さん方は洗濯物を新物よりも早く汚れる、洗濯屋に洗はせると直に地質が弱る等と非難なさるやうですが、これは誤解でありまして、洗濯物より新物より早く汚れますのは、取扱方の惡い爲め、洗濯屋に洗はせて早く地質が弱りますのは洗濯屋が惡い爲めであります、洗濯物の取扱方は畧しまして、私の多年研究した結果に依りますと、ホワイト肌衣の如きは、四十度位洗濯致さなければ地質が切れるものではありませんが、普通洗濯屋では石鹼の代りにカルキ晒粉を用ひます、これは鹽素質で單に一分間汚物を浸しますもので在りて、夫れ以上になると大に地質を痛めます、ところが洗濯屋では幾時間でも夫れに浸して置く事が在りますので、たまりません、よし石鹼を用ゐても鄙を使つてゴシ〱と無暗に磨りますので、カウス等は丸で首を切られる樣なもので、實にたまつたものではありません、勿論私は鄙を使ひますが、それは鄙を懸けた後で垢を取る爲めに、竹の鄙に糊を付けて柔く磨ります、又私の洗濯法では決して普通の洗濯屋より石鹼等も澤山の分量を使ふのでは在りません、先づカルキを使ひますのは、前述のやうに素人方には危險なものでありますからこゝでは、石鹼を用ゐる事に致します、而し同じ洗濯石鹼にも種類が多くありまして、舶來物では月印、H、B、オールホゼン等が在り、是等は苛性加里が比較的に少く、上等の品でなりますが、和製になるとどうも安からう惡からうで良い品がありません、唯近頃大阪の或會社から賣出しました粉末石鹼はオールホゼンに似て苛性加里も尠く、大變に質が宜しくありますので、私は平常此の物を用ゐる事に致して居ります。

閑話休題、普通ハンカチーフの洗ひ法を述べますと、先づ湯を煮出て、三升位の湯の中に石鹼を茶飲み茶椀一杯、目方に仕ますと十匁を入れて棒で攪亂し、石鹼が黄色に溶解する時を待つて、其中にハンカチーフを十五枚乃至二十枚(百匁)を入れて、十五分乃至二十分間煮る、そして其液の儘盥に明けて、段々の在るもみ板で、ハンカチーフの端を取つて普通の揉み方で揉み洗ひ、今度は淸水で三四回も揉み板にかけてもみ、充分水の澄み切る迄ゆすぎます。

次は銀精布目方にして三匁乃至四匁を湯五合で煉り、ハンカチーフに能く揉み付けてから能く絞り、端に針で糸を貫通して乾かします、これは棹の垢等が附着しないやうに注意するのであります。さて乾き切らない前、まづ中乾きに成つた時に之れを四つ折にして重ね、上から一枚宛鏝を懸けて參ります、つまり一枚の二分の一が四分の一位宛懸るので、之れは端が伸びない爲であります、鏝は勿論充分に燒いたものであります(續く)

◎婦人の旌表

去月四日の事なり。岩手縣知事は同縣下東磐井郡大原町鈴木ホヨ子(七十一)同じく西磐井郡中里村愛國婦人會々員及川モト子(八十)の二氏の世にも珍しき孝養と實業上の功績とに對し左の如き旌表狀に木杯を添へ下賜せられたり、兩氏の如きは正に現代婦人の龜鑑たるべし。

岩手縣東磐井郡大原町
鈴木ホヨ
天保十一年正月十六日生

資性溫良にして篤實父母に事へて至孝夙夜膝下を離れず奉養懇篤未だ嘗て懈らず明治二十六年父は八十一歲の高齡を以て歿す爾來一意母に事へ承歡倍々力め起居衣食意を盡さゞるなく二十有餘年一日の如し即ち母をして百歲の長壽を保たしむ鄕閭其德行を稱す洵に奇特とす依て爲其賞木杯一組下賜候事

明治四十三年一月四日
岩手縣知事正五位勳四等　笠井信一

岩手縣西磐井郡中里村
及川モト
文久二年二月三日生

資性溫順にして慈善の志厚く明治二十八年夫與八郎の歿するや克く婦道を守り其遺業を繼ぎ麻繩の製造販賣に從事して之が改良に努め卅八年縣下凶歉に際し居村細民の窮を救はんと欲し屢々人を岩糸の產地及需用地等に派して製造上の研究販路の調査等を爲さしめ岩糸太口の製造を開始し之を中里村凶作救濟麻糸繩製造部と稱し自ら其部長と爲り村吏に依囑して其監督を請ひ原料を各戶に配付し之に從事せしめて賃銀を與へ以て窮民の生業扶助を爲す初め其製品は粗造にして實用に適せず多額の損失を來せるも毫も之を意とせず熱心奬勵遂に其好果を改む是に於て窮民生計の途を得今や闔村及附近町村農家の副業として之に從事し製出漸次多きを加へ販路大に支り該村は麻繩の主產地を以て稱せらるゝに至る洵に實業に精勵し成績顯著なるものとす依て爲其賞木杯一組下賜候事

明治四十三年一月四日
岩手縣知事正五位勳四等　笠井信一

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎韓國宮中の活動寫眞

去る二日伊藤公百日祭の當夜、韓皇陛下には特に宮中で、曾つて東京に執行された國葬の莊嚴な光景や故伊藤公爵に關係ある活動寫眞を御覽ありたき旨、豫て御内沙汰があり、依つて赤十字、愛國婦人會韓國本部よりは大橋主事其他の事務員が同日仁政殿東行閣と言ふに伺候しましたが、皇帝、皇后兩陛下を初め、義和宮殿下、各皇族、元老、大臣、宮内府高等官、女官等が御集りになり、午後七時から九時まで二時間の間、故公爵の靈柩が横須賀到着の光景から始まり順次に、國葬の盛儀、悲壯なる埋棺式、韓太子滄浪閣御來遊の砌故伊藤公、西園寺侯爵其他知名の貴紳と大磯海岸御逍遙の實景、韓皇陛下西韓御巡幸の折伊藤公が列外扈從の光景等を御覽に供しました。

寫眞の説明は一々に大橋主幹が致し、趙農相が之れを詳細に通譯して奏上しましたが、陛下には時折々首肯あらせられ特に大磯濤聲高き波打際に故伊藤公と西園寺侯が網引きの遊戯に餘念なう韓太子を慰藉する哀情の光景が現はれた時には韓皇には御臨席なる皇后陛下を省て、幾度が低語に御咽になり、參列の各皇族貴紳方も感慨深きものが在つたと云ふ事であります。

又活動寫眞が終つてから、韓皇には小宮内次官を御座近く召されて、故公爵哀悼の御話を幾度となく繰り返され、斯く大橋主事は韓國に於ける赤十字、愛國婦人會の事業が、陛下御保護の下に日々に發展、整備に向ひつゝあるも、故公爵の生前常に指導誘掖を被むつた韓國兩本部が、公爵百日祭の當夜、陛下特別の思召に依り恭しく此の寫眞を御上覽に供したのは、本部の光榮之れに過ぎざる旨趙農相を通じて、奏上致しましたが、陛下には御嘉納あらせられたと承り及びます。

和歌

佐々木信綱大人選

—春季雜詠—

天　滋賀　靜緒子

●はりの手をとゞめてきゝぬまどの外の梢にうたふうぐひすのこゑ

（評）一女らしくやさし。女の歌はなるべく女らしきこそ望ましけれ

地　岩代　長谷川よしの子

●竹取の翁が家を訪はんとや公達三人春の野を行く

（評）着想新奇なるをもて撰びいでつ。

人　横濱　後閑くら子

●梅林ましろき花の間よりまばらにみゆるかやふきの家

（評）杉田の實況寫し得てよし。

秀逸

氷ゐし水もぬるめり子らつれて里の小川にねせりつみてん　美作　西村　長子

賤の女が小まどのもとにをるはたのをさのひゞきに梅のはなちる　岐阜　野村なか子

鶯のねぐらの夢もかをるらむおぼろ月夜の梅のさかりは　芝　土師利根子

花さかばともにゆかんと櫻がりいまより友とちぎりてぞまつ　佐賀　小林龜子

人かげもおぼろにかすむ春の夜の月も匂へる花の下道　神奈川　足立原とく子

甲

薄月夜白梅かをる戸によりて笛ふく人の面はうつくし　三重　佐々木くら子

年ほぎの友ひきとめてけふもまたうき世はなしにすごしつるかな　京都　白百合子

何處より吹くともしもなき春風に匂ひ初たる軒の白梅　芝　小山季寅

鶯の鳴く音ほのかにもれ來るは籬かくれに梅や咲くらむ　丹後　鹽見千代子

朝東風にとけし氷の水かゞみはるの色こそまつうかびけれ　下野　田村かす子

白雪に木々の梢は花咲きてかすみかれたる月のかげ後　赤坂　清水まつ子

乙

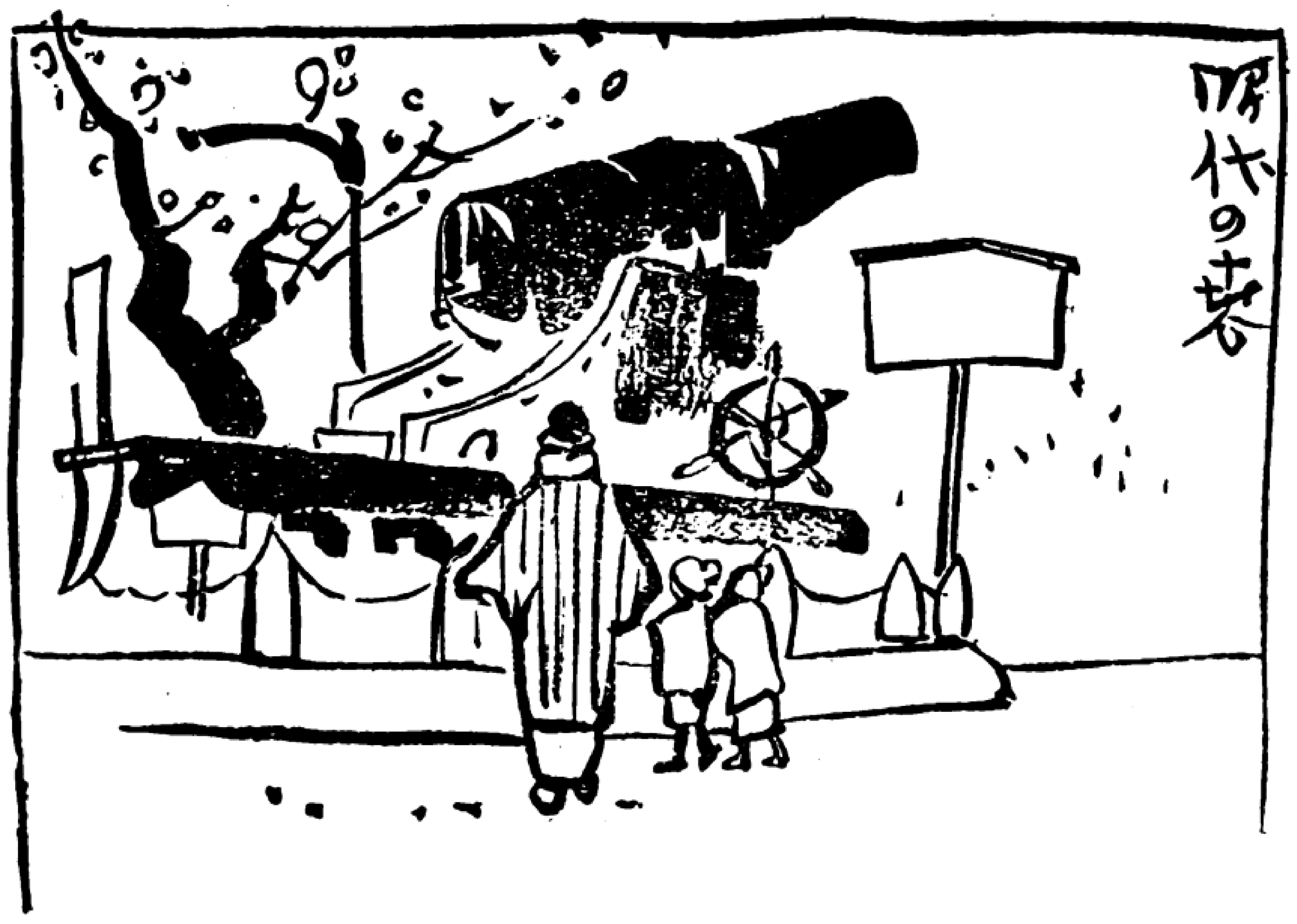
けふの日もいかによきことありつらむあしたさやけくなく鶯に　横濱　鈴木まつ子

山里は早きかりなり都にはまだ參らしき梅の初花　岡山　盛江幸子

東風吹けど雪なけど遠つ家のしら雪見れば春來ぞ知る　埼玉　小林高子

大多度の山はましろにゆきつもりはるのしるしと霞そめたり　三重　北野登米子

春がすみかゝれるとかにあられどもとふ人あらぬ山の下いほ　横濱　鈴木まつ子



夜を籠むみ雲を松尾の浦千鳥なくれあはれにきこえけるかな　本郷　衣笠きく子

しきしまの朝日ににほふ花ならすいとしづかなるゆきの花園　鹿兒島　水谷なな子

はら〳〵と降りし初雪こやみしぬ落葉かく子やいかに爲けき　本郷　奥野杏子

み佛ををろかむ母の袖引きてゆらぐ花櫛さしかへるます　越後　松永葉子

一枝を瓶にさゝんと折りに來てならでながむる梅の木の下　岡山　森島古野

おとつれて鳴けや鶯梅の初花に醉ひつゝ初音またるる　越後　杉山ちせ子

春たちてほゝゑみそめし梅が枝をさかりと見せて雪のかゝれる　丹後　安久春子

行く春のなごりなるらむ春立といふ日にせまる今日の雪げき　岩代　西山佐保子

春風秋水

▲目下獨逸ベルリン御滯在中なる伏見若宮同妃殿下には、順次佛、西、伊、諸國を、又來年三月末より墺、露、和等の諸國御巡歷の上、五月中旬日英博覽會總裁として御渡英の大宮殿下に御對顏、米國を經て來る七月下旬御歸朝遊ばさるゝ御定なるやに承る▲秋田縣鳳田婦人會は明治十九年「女を教へ導く組合」の創立せられしが元にて爾來益々擴張發達して、日清日露の兩戰役には恤兵慰問等に努めたる功により賞賜せられ、又養老養蠶の獎勵を爲す等功績頗る大なるが本年にて二十五ヶ年間繼續すると云ふ。▲愛國婦人會本部にては今般事務手續の都合に依り二三の事務員に更迭ありたり。▲高尚優美なる娛樂は人格を高尚にするも賭事、色事、飲む事、及び之に伴ふ娛樂は惡魔の使用する武器なり、注意すべきことなり▲又惡魔は暗黑を好むとかや、されば何事も公明を貴び、父子、夫婦、兄弟の間、必らず秘密なきやうに心懸くるは厄除け、魔除けの秘訣と心得べし。

▼衛生顧問▲

▲産科婦人科　濱田病院醫員　醫學士　小畑惟清先生

▲小兒科　帝國大學病院小兒科醫員　醫學士　齋藤宗積先生

▲齒科　米國カリホルニヤ齒科大學卒業ドクトル　大原等太郎先生

◎愛讀女生へ申す、封書にてならば御答致すべし。

◎四度流產致しますが如何致したものでしやう（本郷　驚生子）

（答）流產の多くは梅毒に原因するも又子宮の病より來る事あり、之れに對する療法には注射、塗擦等あるも必らず醫師の許を得て行はるべし

◎私は本年十九歲ですがまだ月經が在りません、夫れで宜しいのでしやうか（麻布　心配女）

（答）身體に別に異狀なければ心配に及ばず

◎月經が止まつてから五年になりますが近頃又月經を見ます差支はありますまいか（赤坂茂藏の女）

（答）眞性の病氣にてはなく寧ろ惡性の場合多きにより速に專醫の診斷を乞はるべし何れにしても病氣なるべし

◎神田大和女史へ

出產の確たる日數は判らざるも今日の產科學界にては最終の月經より二百八十日を以て豫定日とす今一箇の質問に對しては封書にて御答致したし。（以上　小畑先生）

回讀

明治庚戌　自一月二十四日至二月十日

▽一月二十四日（月）　晴　御沙汰を蒙り岩倉宮内大臣曾禰統監以下顯員一同招待〇韓國大皇帝の居住德壽宮内出火〇元の有栖川宮實枝子女王殿下女王御分娩

▽同　二十五日（火）　雪　彗星現はる〇東宮殿下開成中學生徒の溺死に御心を痛ませられ葉山より同校に行啓、御仁慈申すも畏し〇李韓國總理離床〇龜井戶天神鷽替

▽同　二十六日（水）　晴　北白川宮輝久王殿下御參内〇賀陽宮五十日祭

▽同　二十七日（木）　曇　獨逸皇帝御誕辰日〇在英中なる伏見宮博恭王殿下御款待に對し我　兩陛下より英國皇室に向け懇篤なる御親電を發せらる

▽同　二十八日（金）　雨　巴里の洪水益氾濫住家を失ふ者三萬〇特命全權公使赤羽四郎氏逝去

▽同　二十九日（土）　曇　東宮殿下葉山より御歸邸

▽同　三十日（日）　晴　孝明天皇祭〇防長史談會新年大會

▽同　三十一日（月）　晴　東宮殿下葉山御避寒〇伊集院海軍々令部長以下位階陞敍〇在韓日本人數十四万四千八百人

▽二月一日（火）　晴　伏見宮殿下國府津より御歸京〇伏見若宮同妃殿下倫敦御出發獨逸に向はせらる

▽同　二日（水）　晴　故伊藤公百日祭〇郵便貯金利息四分二厘に改正

▽同　三日（木）　晴　久邇宮、東久邇宮兩殿下横須賀軍港へ御成〇全國茶業組合大會

▽同　四日（金）　晴　節分會〇四分利新公債引受調印

▽同　五日（土）　晴　佛國洪水に付き　兩陛下より金二萬法（約八千圓）被害民御慰問の爲め御贈與

▽同　六日（日）　晴　沼津御避寒中の皇后陛下興津清見寺行啓遊ばさるゝ事に御内定〇帝國婦人協會新年會〇大日本婦人衞生會例會

▽同　七日（月）　晴　竹田宮恒久王殿下鎌倉別邸より御歸京

▽同　八日（火）　晴　閑院宮殿下小田原より御歸京

▽同　九日（水）　雪　皇太子殿下葉山より御歸京〇伏見若宮博恭王同妃經子兩殿下伯林御出發羅馬に向はせらる

▽同　十日（木）　晴　佛國巴里附近洪水に對し我　天皇皇后兩陛下より御見舞電報全國御寄贈相成たるにより大統領の電會に基き謝意奏上の爲め同國大使に謁見仰付らる

愛國婦人といふ新聞を見てよめる　元皇太神宮禰宜大教正源川明岡　七十八翁

姫松のかよわき枝も雪とけてあらはれにけるちから強かな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

△謹告▽

●各支部各委員部に於て會務に關する事項及會員其他有志者の善行等速に本紙上に掲載を要する事柄は事の大小に關せず當發行所へ直接原稿の御送附を希望す

●本新聞紙は本會主旨の普及並に事業の狀況を一般に告知せんが爲め去る五日號以下毎號左記の各驛停車場待合室に於て汎く縱覽に供す。

新橋　横濱　上野　兩國　靜岡　濱松
名古屋　津　京都　馬場　大阪　難波
岸和田　和歌山　奈良　神戸　姫路
岡山　津山　廣島　下關　米子　新舞鶴
德島　丸龜　福岡　盛岡　佐賀
熊本　鹿兒島　長崎　福井　金澤　富山
長野　甲府　宇都宮　新潟　直江津
水戸　仙臺　弘前　青森　函館
札幌　大泊　釜山　大邱　京城　仁川
大連　旅順　鐵嶺　臺南　臺北　臺中
打狗　新竹

●當新聞は從來取扱方區々たりしが今回愛國婦人會各支部にその取扱方を囑託せしに本月十五日迄の廻答に依れば左記の十五支部にては既に承諾を與へられたり

山梨　石川　靜岡　青森　新潟　鳥取
長野　茨城　大阪　德島　京都　函館
鹿兒島　岡山　宮崎

且つ山梨支部に於ては左の方法により取扱はるゝ事に内決せり。

拜複彌々御佳適賀上候陳ば機關新聞紙取扱上に付再應御來示の趣了承右は從來の購讀者繼承は勿論支部に於て自らこれを取扱ふに付ては此際第一着に支部より各幹事部に配送し先各幹事部を購讀者として以て購讀の確實と基礎の鞏固とを謀り尚進んては各委員部即ち二百三十餘ヶ所の町村に配布して其の委員部を購讀者と定め彌々其購讀の確實を期し其經營と發展の如何を察して一般會員は勿論汎く有志家に向て購讀勸誘を試る等は專ら其幹事部其委員部をして之に當らしめ始終確實を旨とし漸次其版圖を擴張する方針を以て經營するの考案に有之既に赤十字雜誌の如きも略此方針にて遂行する計畫に有之候尤も本件は近日開催の豫算議決の評議員會に於て諮問し決定の筈にて決定の上は改めて御通報可及含に有之候へとも不取敢卑見の趣申進度如此候匆々拜具

明治四十三年一月廿六日

山梨支部主事　齋田齋英

主事八田一精殿

追て本件は會の主義普及の目的として本誌は支部に於て之を購入し支部より各幹事部、幹事部より各委員部へ順次配送周布を謀るの精神に有之候條爲念申添候也

●營業其他諸般の廣告を本紙上に掲載希望の諸君は當發行所へ直接か又は廣告取次店に御申込ありたし。

愛國婦人發行所

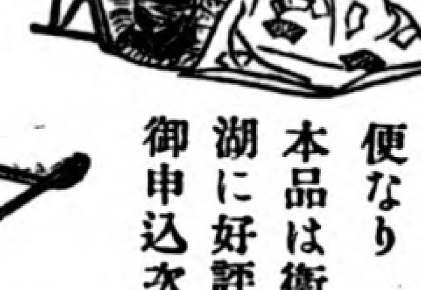
山梨縣下購讀者へ至急廣告

愛國婦人は二月五日刊行第百九十四號より當山梨支部に於て配達致候事と相成候に付同號以後の代金は當支部又は所在地幹事部へ御支拂ひ相成候樣致し度此段愛讀者各位へ稟告す

明治四十三年二月

愛國婦人會
山梨支部

專賣特許　**一森式座椅子**

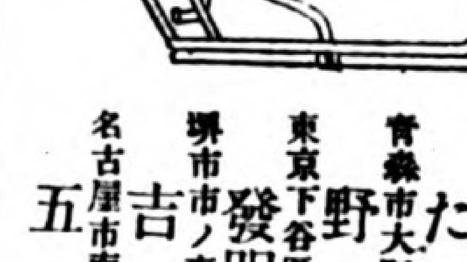


一箇にして安樂椅子となり又寢臺ともなり疊込めば縮少して携帶に便なり

本品は衛生的要具にして江湖に好評なり圖面入說明書御申込次第進呈可仕候

定價
壹臺　金五圓以上
一更沙布團付　壹臺　金六圓五拾錢以上
一メリンス布團付　壹臺　金七圓五拾錢以上

製造發賣元　東京市芝區下高輪町廿一番地　電話芝(二〇九五番)　振替貯金口座(二八七六七)　樂民堂

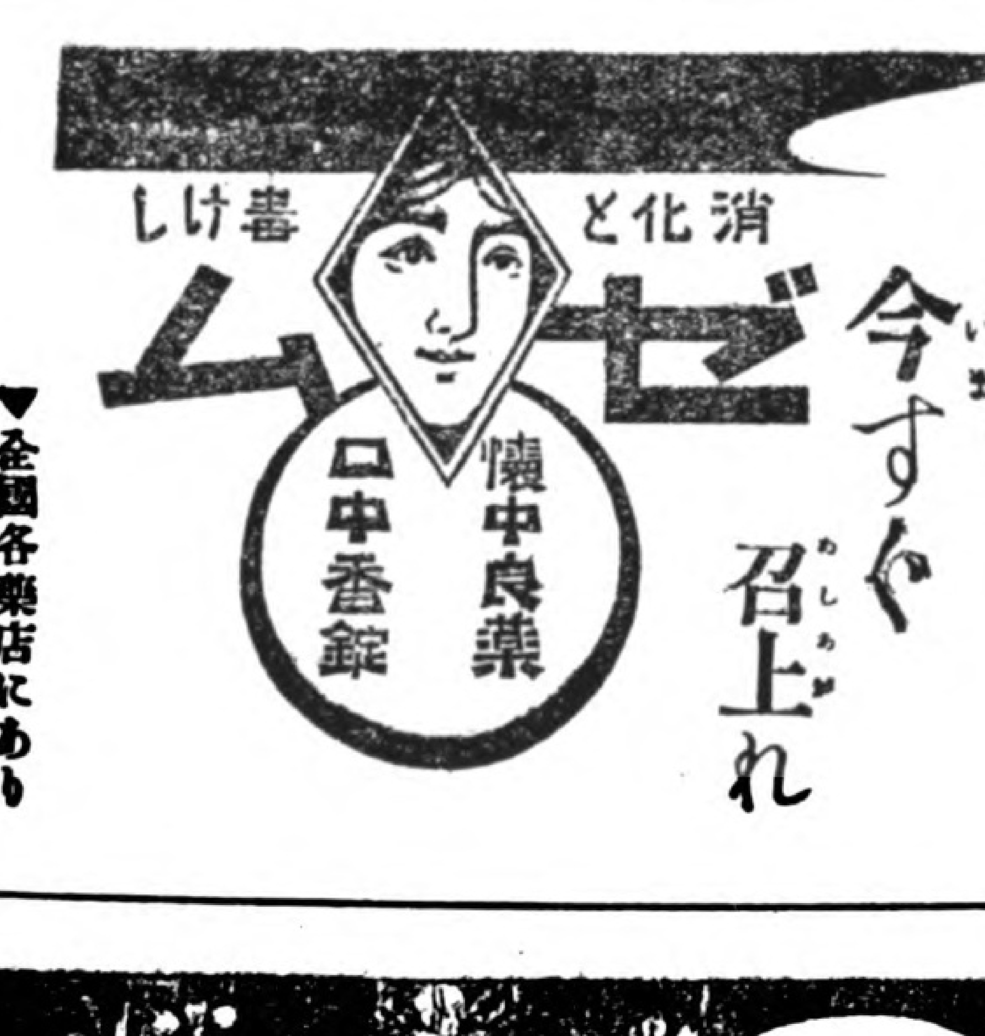


特約店　販賣店
東京 大阪　三越呉服店
東京市京橋區銀座四丁目十三番地　電話新橋六五六番　鈴木　岐阜提灯 毛織物　店
東京市京橋區銀座四丁目十一番地　電話新橋一五六一番　神谷　岐阜提灯 毛織物　店
東京市下谷區上野廣小路　電話下谷五三六番三〇四四番　第二博品館三階
東京市本鄕區元富士町二番地　電話下谷五七番　南江堂小立商店
横濱市住吉町五丁目六拾八番地　電話一〇七二番　杉野洋服店
靜岡市札ノ辻町十八番地　杉山椅子店
臺灣臺北府前街三丁目　電話二九五番　丸山呉服店
門司市東本町一丁目　手塚商店
大分縣別府松原通　たまや商店
青森市大町三丁目　野崎洋物店
東京下谷區上野廣小路　發明品第一陳列會
堺市市ノ東町一丁目　吉田商店
名古屋市南長崎町一丁目　五二會

皆様

今日もまた丈夫で元氣で心から愉快に「暮す樣」

「ゼム」を今すぐ召上れ



▼全國各藥店にあり

碧川紅雨譯

感化小說　**少年僧正**

報知新聞此書を評して曰く結構非常に面白きが上に譯文流麗にして愉快に讀ましむ吾人は一讀卷を閉づるに忍びず多大の教訓を受け第二三讀を重ねて「ミゼラブル」を讀むの感を起さしめたり實に近來に無き良書と謂ふべし云々

東京巢鴨町上駒込(振替三五五五番)

●二月の新刊圖書●

愛ちゃんの夢物語 第一編 第二編 各	金四拾錢	郵稅四錢
通信佛典物語	金參拾錢	郵稅四錢
小說アイバンホー	金貳拾錢	郵稅四錢
二宮尊德報德物語 第二編	金參拾錢	郵稅四錢
女流歌評釋	金參拾錢	郵稅四錢
萬葉長歌評釋	金四拾錢	郵稅四錢
英國に於ける少年兵團	金五拾錢	郵稅六錢

內外出版協會

今流行の半ゑりは神田赤のきんに限る

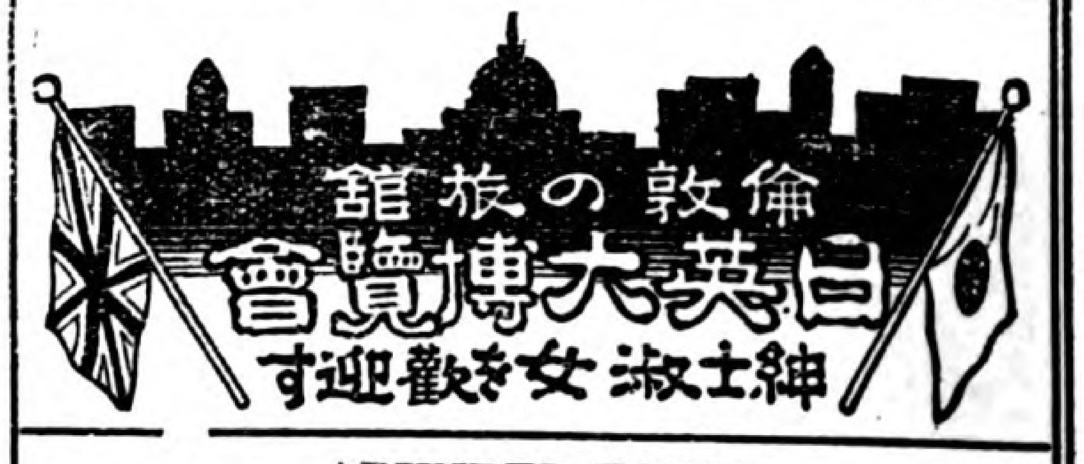
本店　神田表神保町壹番　電話本局二八五三
出店　新橋博品館階上

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

AIKOKU FUJIN

(THE PATORIOTIC LADIES.)

A Fortnightly Home Journal.
Circulates in all parts of Japan; Official Organ of the Japan Ladies Patriotic Society.
Head Office: Iida Mochi, Kojimachi-ku, Tokyo.
All communications respecting European and American A ertisements should be addressed to
THE FAR EASTERN ADVERTISING AGENCY
(Toyo Kokoku Toritsugl Kaisha,)
38, Naka Machi, Kobe, Japan.
(or London Office: 57, Craven House, Kingsway, WC.)



ARUNDEL HOTEL,
Victorip Embankment, London, W. C.

當館は地下電車乘場に接近し日英博覽會場へ數分の間に達するを得、第一流の劇場に近く寢室壹百、圖書室、喫烟室、球突場等完備す眺望は雅なり。英國倫敦 アランデル ホテル

CHARING CROSS HOTEL,
Strand, London,
電信宛名 "Banqueting, London.,,

本館は倫敦第一流の旅館にして市の中央に在り鐵道及電車に近く遊覽見物に至便寢室三百五十電話各室に通す、圖書室喫烟室遊戲室海水浴室等完備す。英國倫敦 チヤリーング、クロス、ホテル

MARBLE ARCH HOTEL,
Hyde Park, London, W.

當旅館は著名なるハイズ公園に接近せるが故に眺望雅絕且つ健康上尤も好し。劇場其他名所古蹟見物に至便なり。室七拾五尤も美觀を極む。旅客送迎の爲め馬車を備ふ 英國倫敦 マーブル、アーチ ホテル

QUEEN'S HOTEL,
Upper Norwood, London, S. E.

本館は日英大博覽會場に接近せる大旅館にして見物に至便なり宿泊料低廉、食事中奏樂す各室清潔にして美觀を極む 英國倫敦 アッパーノルウード街、クヰンス ホテル

SALISBURY HOTEL,
Salisbury Square, Fleet St., London.
電信宛名 "Salisbury Hotel, London.,,

快適なる談話室、應接室、圖書室其他旅客を慰藉する設備は全し
一日の宿泊料（食料其他一切）約五圓以上
當旅館より五分間にして劇場其他著名なる場所に達することを得
英國倫敦サリスベリー、スコーア、フリート街
サリスブリーホテル
電話三八一九番（セントラル）
電話七三一番（シチー）

世界の新聞雜誌廣告取次は日本では唯一神戸の
東洋廣告取次會社

社告

本誌掲載の廣告を見て、廣告主と取引應答せらるゝ際は、其旨先方へ御申添相成度候敬具

愛國婦人發行所廣告部

小說 白鷺

泉鏡花氏著

榊原蕉園女史口繪　帙入菊判大冊　實價金壹圓
名取春僊氏意匠　新裝善美　送料金八錢

捲土重來の概ある作家を最近の鏡花氏となす、本書は新來の興になれる、著者會心の長編にして、文章極緻、稀に見る雄編たり。

東京　振替口座一六一七　春陽堂

タカヂアスターゼ

●不消化の徵候

醫學博士谷口長雄氏曰く『澱粉不消化に因する疾病の重なる徵候は胃の膨滿、疼痛、溜飲、腸內瓦斯蓄積、便秘若くは下痢等にして甚しく營養障害を來す是等の疾病に對しタカヂアスターゼの頗る有効なるを信ず』と

●高峰博士發見の製法に從ふタカヂアスターゼは每瓶强度一定効力不變なり

是れ普通製法の幾多模造品と異る特長なり眞正なるタカヂアスターゼを得んには必ず高峰博士のタカヂアスターゼと指定せられよ粉末錠劑の二種あり各地に於ける信用ある藥舖にて取次販賣す

●醫學大家の報告を收載せる『タカヂアスターゼ說明書』あり　發賣元東京日本橋室町三丁目三共合資會社へ申込まるれば無代郵送す

醫院案內

產科婦人科小兒科　女醫　鷲山彌生
診察時間　院長　每日午前八時より　醫員　每日午後三時より

東京至誠病院
內科部長　醫學士　武智基造
診察時間　火木土午後壹時より
病室及產室の設けあり入院隨時
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地　電話番町二二五七

院長　醫學博士　榊順次郎
副院長　醫學士　久保德太郎
副　醫學士　田代謹二
婦人科產科　每日午前診察
婦人科的外科　外國留學中
婦人生殖器病　泌尿器病及內科一般火木土午後診察
●施診火木土午後一時至二時
婦人科產科　榊病院
麴區町三番町三三（電話番町三九五）

◎產科婦人科
芝明船町十九虎門外　電話新橋三三二四番
櫻井克巳

小兒病診療　往診午後　宅診午前
淺草區新福井町二（瓦町電車停留場際）
醫學士　內田愼太郎（電話下谷七一八）

東京神田美土代町三丁目十七番地
內科一般　午前宅診　午後往診
增築落成　電話本局貳千九百七十番
板垣亭

院長　醫學士　福田謙之
次長　醫學士　加藤良逸
小兒病一般並に小兒皮膚科　小兒耳科
◎診察午前正午迄、後二時ヶ五時
京橋區釆女町（歌舞伎座前大横通）
電話新橋三二四二番四八八一番
福田病院

腦神經精神病科
東京龜戸町　電話浪花二五五二
加命堂腦病院

院長診察月水金木前松田醫學士診察火土前窮者施診火木前入院診斷隨時應需松田林兩副長は目下當院に在勤
電本八八八（病院用）八九八（私宅用）
東洋內科醫院

東京神田區駿河臺鈴木町二（御茶水橋畔）
院長　醫學士　高田畊安
神奈川縣高座郡茅ヶ崎村濱（停車場所在）
南湖院

岩佐病院　日本橋區蠣殼町二丁目廿三番地（電話浪花六七九番）
診察時間　自午前九時至正午十二時
內科婦人科　院主　岩佐純
內科　院長　ドクトル　岩佐新
外科　醫學士　山村正雄
產科婦人科　醫學士　西村漸
腦病脊髓病　醫學博士　土田卯三郎

◉院長　ドクトル　木村順吉
京橋卅間堀一丁目角（電話新橋二六七〇）
婦人科產科木村病院

產科婦人科專門
診察每日午前　入院隨時
淺草區左衛門河岸　電話下谷一〇二八
岩田病院

愛國婦人廣告取扱
神田三河町一ノ一九 博報社
京橋宗十郎町一七 正路喜社
日本橋蛎殼町三ノ十一 大興社
京橋區南紺屋町一 一星社
神田須田町廿七 金蘭社
京橋區 廣告社
下谷區御徒町一ノ三九 三松堂

風味ありのみ
越後名産

●御進物用最も宜し
定價
並等品一個 金五錢
上等品同 金八錢
優等品同 金十二錢
特等品同 金十五錢
箱詰入 金一圓二十錢以上
御進物用 金二圓二十錢迄
（外に數種あり）
越後名産梨果專門
東京市牛込區山吹町十番地
卸小賣 一葉商店
（江戸川電車終點矢來交番の中央）
●市内は一圓以上御需めの方へは御一報次第直ちに配達可致候

家庭永久の寶典
手輕實用
石塚月亭編
弦齋夫人の料理談
（第三編）
和装美本價六拾錢郵税八錢
◎村井弦齋氏夫人は當今無比の家庭料理通なり其の説く處何人の家庭にも適用さる
◎第一編及第二編を讀みたる人はどんな初心でも先生がゐなくて容易に實習が出來る
◎第三編は第二編に出づ安い材料で美味しい御馳走の拵へ方滿載
▲村井弦齋君著 婦人の日常生活法 上製金字入價壹圓廿錢税拾貳錢
▲拜石齋文雅著 諸流盆石指南 定價六拾錢（郵税八錢）（盆石家の絶好伴侶）
東京京橋南紺屋町十二番地 實業之日本社

小兒藥大王
小兒五疳驚風虫一切の妙藥

東京銀座三丁目 八 松澤八右衛門

文部省各府縣受驗科和洋裁縫造花編物袋物ミシン使用法家政學各教授法各科無試驗
生徒募集
三月新學期開始
要規則書ハ郵券貳錢
私立 日本技藝女學校
牛込區水道町三拾二番地

美術 すゞれ錦 調進、教授
東京牛込區市ヶ谷本村町十二番地（救世軍士官學校下際）
管錦光堂
調製品目
◎紙入◎煙草入◎ネクタイ
◎信玄袋◎名刺入
◎男女帶地◎布帛類
其他御注文ニ應シ調進可仕候

和洋裁縫各科募集
本校教員養成科は文部省裁縫科檢定試驗を受る事を得
本科は來四月許入學尚各科毎月募集
東京麴町區飯田町九段中坂上
（電話番町千九百七番）
文部大臣認定 私立 和洋裁縫女學校

御扇子
愛國婦人會御用達
京都寺町五條下ル東側
御影堂 持阿彌

小兒科專門
西川醫院
本所緑町一丁目卅一
南わり下水際
電話浪花三〇七三番

革手袋
洗濯色上
壹組金參拾五錢
東京府下角筈新町三十八番地
赤玉屋研究部

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話（特）本局六七三番
電話本局四九八番
定期預金 六ヶ月 年四分五厘
當座預金 百圓に付日歩 五厘
特別當座預金 同日歩 九厘

●頭髮の薄き、惡しき、拔毛に苦しむ方よ
毛髮洗滌液 ペトロール、ハーン

は目下歐米到る處に高評嘖々たるものにして毛髮を濃厚にし、フケ拔毛を止め、光澤を增し且つ柔軟ならしむ、而かも馥郁たる香氣あり使用復永く快感を覺えしむ眞に神妙なる逸物なり
（各地有名なる化粧品店にあり）
代價 小瓶一圓廿五錢 大瓶二圓
横濱市山下町七十番 エー、ハイム商會

美！美！美！
眞に理想的の美顏料として目下世界令孃間に盛んに賞用せられつゝある佛國シモン會社製美顏用
シモンクレーム
は必ず色を白くし、きめを細かに艶を出し而かも顏や手足のあれし時、髯剃りし後、ひゞ霜やけ等に對して他に卓越せる無比の美顏劑なり
日本代理店 横濱市七十番
エー、ハイム商會
（各地化粧品及小間物店にあり）

東京市麴町區錢瓶町（常盤橋内）
日本興業銀行
電話本局 一、二八〇番 三、三〇〇番 四一番
（特）三七番 一〇二番
資本金壹千七百五拾萬圓
營業科目
一擔保附社債に關する信託業務
一有價證券其他貴重品等の保護預
一有價證券の賣買元利金の支拂及び取立
一地方債、社債、株式等の發行募集事務
一各種の信託事務
一國債證券、地方債證券、社債券、株券の擔保貸付及手形の割引
一國債證券、地方債證券、社債券の募集又は引受
一法律規定に依り設定したる財團を抵當とする貸付
一定期預金、特別當座預金

資本金八千八百萬圓
東京京橋區木挽町
株式會社 十五銀行
電話新橋 三三〇〇番 一五三〇番 三一九三番
同日本橋區新乘物町
同 日本橋支店
電話浪花 一九〇一番 三三七四番 三五〇八番
一定期預金 六ヶ月以上年五分
一當座預金 日歩七厘以下
一特別當座預金 同 壹錢

明治四十三年二月廿日發行（毎月五日廿日二回）（定價金三錢五厘 一ヶ月七錢郵税不要）（廣告料一行金六拾錢）編輯兼發行人 山澤俊夫 印刷人 竹内貞三 發行所 東京麴町區飯田町 愛國婦人發行所 印刷所 東京本所區番場町 凸版印刷株式會社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附錄 愛國婦人會記事

本部記事

◎決算報告書の到着　明治四十二年度支部會計決算報告書先月二十九日より本月十二日迄到着せし分左の如し。

一月二十九日着　新潟支部
同　三十一日着　島根支部
同　日着　滋賀支部
二月一日着　埼玉支部
同　日着　德島支部
同　二日着　京都支部
同　日着　岐阜支部
同　日着　山口支部
同　日着　愛媛支部
同　三日着　福井支部
同　五日着　福岡支部
同　七日着　千葉支部
同　日着　岩手支部
同　日着　鳥取支部
同　八日着　沖縄支部
同　九日着　神奈川支部
同　十日着　奈良支部
同　十一日着　大阪支部

以上

右の内千葉支部は好成績、愛媛、岐阜、新潟、山口、神奈川はや、豫想以上の成績なり。

◎支部顧問の卒去　福島支部顧問從四位勳三等西澤正太郎氏は二月二日午前八時東京帝國大學病院に於て卒去せられ、同日午後八時二十分上野發列車にて福島市に死屍を廻送せらるゝにより本部よりは評議員兼參事會員古市幸子、及高松鐵太郎、八田一精同停車場に於て送葬せり。又岡部會長は左の弔辭を福島支部へ郵送せられたり。

福島支部顧問佩特別徽章從四位勳三等西澤正太郎殿遠逝せらる、秖子等深く追悼して措く能はざる所なり、玆に總裁殿下の台聞に達し、謹て弔詞を呈す、

明治四十三年二月三日
愛國婦人會長
子爵夫人　岡部秖子

◎奧村刀自展墓　二月七日は故正七位勳六等奧村五百子刀自の命日に付き、同日本會を代表し本部評議員兼參事會員關むら子淺草本願寺別院に展墓したり。

◎例會　本月廿三日(第三水曜日)本部樓上に於て午後一時より理事、參事會員、及顧問會を開催、左の事項を協議し併せて諮問會を決了し午後五時過散會したり

一、本部規則改正案
一、本部事務細則改正案
一、敎養所規則改正案
一、敎養所敎與規則案

出席せし人名左の如し

岡部會長、濱尾理事、柵橋理事、三輪田理事、山脇參事會員、關參事會員、高木參事會員、古市參事會員、高木(富)參事會員、柳田參事會員、周布顧問、波多野顧問、山田顧問、

◎栃木支部に於ては評議員幹事は來る三月より管內の遺族廢兵を各々其住所に付き慰問をなし親しく生活の狀況を視察せんとの計畫ある由。又三重支部に於ては本年度より管內居住の遺族廢兵の諸氏を慰問し傍ら其の生活の狀況に付き實地に視察を試みんとの計畫あり。

◎救護賜與に關する謝禮狀　左記の諸氏より會長宛到着せり。

廣島縣福山町福田藤一郎、愛知縣丹羽郡伊藤よし岡吉野義信、富山縣上新川郡才木チヨ、岩代國南會津郡渡部サノ、東京市本郷區地畑宗助、奈良縣大瀧松谷慶藏、岡山縣眞庭郡川東村大字西原故陸軍步兵一等卒牧辰右衞門妻牧よしの、愛知縣丹羽郡樂田村田中ひろ、奈良縣吉野郡下市町故陸軍步兵一等卒西川清太〻父西川庄次郎、奈良縣山邊郡朝和村大字長柄故陸軍步兵一等卒川畑末吉父川畑四貫三郎、日高國浦河郡浦河町大字浦河村字鯖別向井アリキヨ、岐阜縣揖斐郡揖斐町細野丑太郎、岡山縣美田郡朝木村小林住太郎、千葉縣東葛飾郡富勢村長妻とり、

愛國婦人會々員女子人口比較表

明治四十二年十二月末日現在調

府縣	特別會員 終身	特別會員 年賦	特別會員 計	通常會員 終身	通常會員 年賦	通常會員 計	合計	女子人口(卅六年末調)	會員ノ女子人口ニ對スル百分比	贊助員
臺灣	九六七	一、〇六四	二、〇三一	八、二六〇	二三、二三〇	三一、四九〇	三三、五二一	一、四〇〇、七七一	二、三九	三七
北海道	三四一	二、五三九	二、八八〇	五二八	一三、六二九	一四、一五七	一七、〇三七	五〇七、六二八	三、三五	三
東京	一、四七八	七、九九〇	九、四六八	一、一八三	一八、五二四	一九、七〇七	二九、一七五	一、一五七、五一四	二、五二	七二
京都	四八三	一、九五〇	二、四三三	五九七	一七、四七九	一八、〇七六	二〇、五〇九	五二〇、三九五	三、九五	二二
大阪	六六〇	二、七六五	三、四二五	八六九	一六、一一〇	一六、九七九	二〇、四〇四	八六三、四〇六	二、三六	二一
神奈川	四三八	一、二三八	一、六七六	八一〇	一七、〇一四	一七、八二四	一九、五〇〇	四九九、六二三	三、九〇	七三
兵庫	五五七	一、六五六	二、二一三	一、四〇一	三二、五四五	三三、九四六	三六、一五九	八九三、七三四	四、〇五	一七
長崎	一、二六八	二、三五八	三、六二六	一、一四七	一〇、九九五	一二、一四二	一五、七六八	四八九、三五〇	三、二二	三
新潟	三三七	八五五	一、一九二	八一六	一二、四八一	一三、二九七	一四、四八九	八九九、〇二一	一、六一	三八
埼玉	八三	二九六	三七九	四四五	九、二九九	九、七四四	一〇、一二三	六二七、五五六	一、六一	三八
群馬	二一八	一、三三二	一、五五〇	一九九	一三、一七五	一三、三七四	一四、九二四	四五四、一七一	三、二九	三
千葉	一八二	八二三	一、〇〇五	五四〇	一二、〇七三	一二、六一三	一三、六一八	六五六、七八二	二、〇七	二九
茨城	六六	四七一	五三七	二七六	一〇、〇七六	一〇、三五二	一〇、八八九	六〇〇、四一三	一、八一	一
栃木	二〇九	七四七	九五六	四五六	一一、九五〇	一二、四〇六	一三、三六二	四五〇、一二六	二、九七	一
奈良	五四	二四五	二九九	二三四	五、八九九	六、一三三	六、四三二	二七八、一九一	二、三一	一
三重	一二五	三一二	四三七	五七九	一二、七八二	一三、三六一	一三、七九八	五二二、〇四三	二、六四	六六
愛知	四九八	一、〇九二	一、五九〇	二、〇四七	三三、八七三	三五、九二〇	三七、五一〇	八六六、五三八	四、三三	一三七
静岡	一三六	六二七	七六三	一、〇三九	一八、七三四	一九、七七三	二〇、五三六	六四〇、八四八	三、二〇	二二
山梨	五九	三三八	三九七	一八五	三、八一九	四、〇〇四	四、四〇一	二七二、一四八	一、六二	丨
滋賀	一二二	三二一	四四三	五二八	五、五四二	六、〇七〇	六、五一三	三六四、六八八	一、七九	丨
岐阜	一二四	七一六	八四〇	三三一	六、四九三	六、八二四	七、六六四	五二〇、六五八	一、四七	三
長野	二一六	一、一四二	一、三五八	九四二	一五、四九六	一六、四三八	一七、七九六	六七四、七一五	二、六四	一七
宮城	一九五	一、二七二	一、四六七	二〇五	一〇、二八九	一〇、四九四	一一、九六一	四四五、〇四四	二、六九	一二
福島	二九二	一、〇八五	一、三七七	七八三	一一、七五三	一二、五三六	一三、九一三	五八二、一五六	二、三九	一
岩手	一〇〇	五九九	六九九	二六三	八、三二一	八、五八四	九、二八三	三六九、二七八	二、五一	一
青森	二六二	一、一一二	一、三七四	五一〇	九、四七七	九、九八七	一一、三六一	三二二、二二二	三、五三	一〇
山形	一七二	七八六	九五八	六七二	二〇、五四九	二一、二二一	二二、一七九	四三九、六一八	五、〇五	一〇三
秋田	三二五	六六一	九八六	八七〇	一二、四一九	一三、二八九	一四、二七五	四〇三、七四六	三、五四	三
福井	一四八	六九二	八四〇	三四七	七、九六二	八、三〇九	九、一四九	三二〇、一五四	二、八六	一〇
石川	五五三	一、四二四	一、九七七	四九三	一九、三一六	一九、八〇九	二一、七八六	三八五、四七八	五、六五	六六
富山	一五七	九七五	一、一三二	三八三	一四、二七八	一四、六六一	一五、七九三	三八四、九八二	四、一〇	五二
鳥取	一六三	一三一	二九四	一五〇	五、六九九	五、八四九	六、一四三	二一七、五四一	二、八二	六
島根	一〇八	三四二	四五〇	三五四	一三、五四七	一三、九〇一	一四、三五一	三六二、六三〇	三、九六	一
岡山	二二二	九〇九	一、一三一	六〇八	二二、七五五	二三、三六三	二四、四九四	五七七、二七二	四、二四	一三
廣島	五五四	一、九九二	二、五四六	一、三七五	三〇、五九六	三一、九七一	三四、五一七	七四六、六五五	四、六二	一五
山口	三〇八	九三〇	一、二三八	一、二一三	二七、〇七六	二八、二八九	二九、五二七	五〇六、九二〇	五、八二	五二
和歌山	六七	二七四	三四一	二一七	四、二三〇	四、四四七	四、七八八	三五〇、〇六九	一、三七	一
德島	八五	二八二	三六七	四九三	七、三五九	七、八五二	八、二一九	三五二、六〇八	二、三三	六
香川	二二一	五六九	七九〇	五三八	一一、四二二	一一、九六〇	一二、七五〇	三四七、八九〇	三、六七	一〇
愛媛	一〇〇	四七七	五七七	三六〇	一九、〇八〇	一九、四四〇	二〇、〇一七	五一一、三九六	三、九一	五〇
高知	四〇	二〇八	二四八	二五六	五、五九六	五、八五二	六、一〇〇	三一八、二四五	一、九二	丨
福岡	三二五	二、三六六	二、六九一	七九二	三一、五一九	三二、三一一	三五、〇〇二	七七二、七四三	四、五三	四
大分	一二六	七一八	八四四	三〇五	一〇、六八六	一〇、九九一	一一、八三五	四三〇、〇二五	二、七五	三
佐賀	一三二	七七四	九〇六	一七二	八、八三七	九、〇〇九	九、九一五	三二七、六七八	三、〇三	二
熊本	二九六	二、六一六	二、九一二	四八五	一八、七七〇	一九、二五五	二二、一六七	六一〇、四一一	三、六三	一二
宮崎	八七	三七五	四六二	一九一	八、六一三	八、八〇四	九、二六六	二四七、二五二	三、七五	二三
鹿兒島	一四四	一、一一〇	一、二五四	一九二	九、二九四	九、四八六	一〇、七四〇	五九四、九八五	一、八一	八
沖縄	四二	三一〇	三五二	四六	一、七六〇	一、八〇六	二、一五八	二三九、五二七	〇、九〇	丨
函館	七二	四五六	五二八	八五	一、七四七	一、八三二	二、三六〇	丨	丨	五四
韓國	丨	一、二二二	一、二二二	丨	一、九八六	一、九八六	三、二〇八	丨	丨	三〇八
清外	八六五	五六	九二一	四〇六	二八	四三四	一、三五五	丨	丨	一〇二
計	一四、六八三	五五、六八九	七〇、三七二	三六、一七六	六七六、一八二	七一二、三五八	七八二、七三〇	二五、三三〇、〇四〇	三、〇九	一、六八七

東京支部

◎授產場近況　當授產場は曩に牛ヶ淵、赤坂、本所の三ヶ所に設置したりしが、都合上一昨四十一年末限り赤坂、本所の二ヶ所を閉鎖し、牛ヶ淵に合併し、東京支部授產場と改稱し、孜々經營したる結果目下の處、

▲受業婦、總人員三十名

內　在廢兵院廢兵家族　八人
　　遺族若くは廢兵家族　二十二人

▲製產高

被服(襦袢袴下)　一日平均一人に付三組
足袋　同　四足

以上の如にて、日に月に隆盛に赴き、加ふるに昨年六月以後、注文を受け、且つ配達を兼ねるものを置き、各購求者の便宜を計る等種々の方法により販路を擴張したるに、其効果著しく頓に販賣高を增加し、技手、受業婦の如き繁忙に堪へざる有樣にて、舊臘の如きは一時殆んど注文を謝絶する程の盛況なりき。

追加本部記事

◎四十二年度各支部事務成績表　本月十五日迄到着の分左の如し。

函館支部　神奈川支部
青森支部　鳥取支部
福井支部　愛媛支部
岩手支部

以上七ヶ支部

◎支部長及顧問囑託

福島支部長　西久保ミサ子
同支部顧問　正五位勳四等　西久保弘道

右二月十五日囑託

◎明治四十三年二月二十三日評議員會開催に付き會議案左の如し。

▽議案第一號
一、本部規則改正案

▽議案第二號
一、本部事務細則改正案

▽議案第三號
一、敎養所規則改正案

▽議案第四號
一、敎養生取扱方法案

▽議案第五號
一、本會機關新聞愛國婦人補助金案

▽議案第六號
一、本年度總會に關する案

◎特別徽章贈與

石川支部副長男爵母堂　長　寬子
功績に依り特別徽章贈與(二月十五日)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

徳島支部

◎新年互禮會　一月五日愛國婦人會篤志看護婦人會合同新年互禮會を徳島公園内千秋閣にて開催出席會員九十五名來賓には渡邊支部顧問、堀内相談役、古川醫學博士、吉田工業學校長、齋藤高等女學校長、岩崎中佐、毛利少佐等あり盛會を極めたり。

新潟支部

◎長岡市幹事部新年會　一月二十三日例年の通り遺族癈兵を招待して新年會を開きたるが會者三百餘人、來賓の講演餘興等あり大なる盛況なりき、因に同幹事部は會員八百四十餘人、人口比例二十一人を示し管下第一位の成績なり。

◎南蒲原郡幹事部に於ける遺族癈兵慰問の狀況　同幹事部に於ては藤脇前幹事部長の發意にて廣く金品の義捐を募り物品は慈善販賣法により現金に引換へ其收入と蒐集の現金とを以て郡内一般の癈兵及び遺族慰問を計畫せるに意外なる同情を得、收集したる金額百數十圓に上りしも偶々幹事部長の更迭に會し之れが實行を遷延せしが田宮現幹事部長は昨年九月中協議の上癈兵及軍人遺家族を甲乙二種に分ちて調査し、甲には風呂敷一枚、乙には加茂縞一反宛寄贈する事とし爾後三條町廣貞夫人の斡旋により專ら夫の準備中なりしが舊臘漸く整頓せしに付き愈幹事部長以下親しく慰問し之を贈與する事となり一月十日より二十四日に至る二週間田宮幹事部長、山石、鈴木兩幹事、井上事務員等一日の倦怠なく豫定の如く巡回せられ慰問を了せられたるが、かゝる嚴寒の砌特に婦人の身として股引脚絆の結束にて各村落を廻り止を得ざる場合の外決して人力車を用ゐず一意專念會務の爲めに力められたるは郡內一般の嘆賞する所なり、又鈴木夫人の如き齡七十餘歳の老軀を以て之に加はりたる如き實に感嘆せざるを得ず、斯の如くして本會々務は愈好況を呈しつゝあり。

秋田支部

一月十二日縣公會堂に於て愛國婦人會秋田支部新年祝賀會を開催せるが出席會員百二十名實席正面上段に總裁宮殿下の御寫眞を奉置し一同拜禮の後森支部長の開會の辭及深味醫師の有益なる衛生講話（前號より本紙に掲載）等あり餘興には福引を催し和氣靄々の間に黄昏散會せり。

岩手支部

一月四日赤十字社岩手支部樓上に於て愛國婦人會岩手支部及篤志看護婦人會岩手支部主催の岩手縣婦人新年交賀會を開きたるが來會者百餘名、君が代の吹奏、會員の合奏あり次いで鬪トミ子の琴其他有志の薩摩琵琶、手品等數番の餘興ありて終に寶川と稱し豫て婦人必要の雜貨を袋入となしたるものを席順に應じて配與し和氣洋々裡に散會。

靜岡支部

靜岡市幹事部は去月廿九日役員會を兼ね新年會を開催し、田中主事、長島幹事部顧問等臨席、餘興として琴胡弓の合奏などあり、尙當日は同所に於て池の坊生花陳列會ありて梅花水仙等多數の陳列あり和氣談笑の間終始清香馥郁として場内一層の光彩を添へたり。

熊本支部

熊本支部本年度の初會は一月六日縣會議場に開きたるが來會者は川路顧問、石川、梶山、永田の三相談役、川路支部長、西島評議員を始め幹事以下約九百名、支部よりは河内山主事以下各事務員出席し來會者は元第六師團長西島中將を初め其他三十名に達し滿場立錐の地なき盛況を極めたり。式終りて歷史講談數番あり散會に臨み福袋及菓子包を配付せり。

北海道支部

千島國國後郡留夜前村委員部に於て舊臘九日及十二日の兩度第一會々員總會を開く、蓋し同委員部內の會員は二十餘里の間に散在し殊に其間峻坂險嶺あり而も寒冷の季節なるにも關せず來會者各百有餘名、支部長及び幹事部長の祝辭(代讀)其他委員諸氏の演說祝辭等あり盛會を極めたり。

奈良支部

奈良支部宇陀郡幹事部に於ては第一回總會を舊年十一月二十八日開催せるが來會者百數十名遺族及癈兵十餘名の外來賓總計二百餘名の多きに上り頗る盛會なりき、因に當日は幹事部長より定期救護金を授與ありたる後來賓諸名士の有益なる講演あり餘興としてはオルガンの獨奏、琴、ヴアイオリンの奏曲等あり折りから小春日の空暖に曆は冬を語れど世は洋洋の春かと疑はれぬ。

岩手支部

客月二十九日評議員會を岩手縣廳縣參事會室に開く、笠井支部長を始め、笠井顧問、田中相談役、田中支部副長其他評議員出席四十二年度經費決算四十三年度經費豫算并に支部會計規則改正の件に付き宮地主事の說明あり、滿場一致を以て原案を承認せり。

秋田支部

本支部に於ては軍人遺族並に癈兵に對し、從來臨時救護又は定期救護として金員贈與の外、遺家族、學齡兒童の學用品給與及授產事業として木通蔓細工傳習所を開始する等、專ら遺族癈兵の救護に盡瘁しつゝありしが、今回又定期救護金として金二千五百六十二圓を左記の通り、各郡市に配當し、遺族癈兵中生活困難者へ寄贈したり。

郡市名	救護人員	金額
秋田	一一人	一三二圓
河邊	一二	一三八
仙北	二九	三四二
平鹿	二六	三二四
雄勝	一八	二一六
由利	二五	三〇六
南秋田	三〇	三六〇
山本	二二	二六四
北秋田	二六	三三〇
鹿角	一四	一五〇
計	二一三	二、五六二

佐賀支部

佐賀支部內西松浦郡大山村委員部に於ては會員增募の目的を以て、其方法等の協議會を兼ね一月十一日第一回總會を開催したり、來會者三十餘名、幹事代理の開會の辭、西村支部長の祝詞(代讀)等あり、主事々務取扱山村氏佐賀支部に於ける會務上并に救護其他の狀況を報告し將來の希望を述べ、次で種々の協議をなし散會せり。

長野支部

◎所謂愛國婦人　明治四十三年一月十日愛國婦人會へ加入申出でたる小縣郡長窪古町小林てうは若年偕老の夫に分れ爾來孤立單獨親戚の援を假らず知人の補を受けず夏は農業に從事し冬は豆腐を製造し孜々營々家務に餘念なきを以て生計富裕ならざるも亦窮乏のことなく時に再緣を勸むるものあるも貞女兩夫に見えざるの節を守り形影相慰め以て當年六十七の齡に達したる老婦人なり。此人本月十日予を尋ねて學校に來り愛國婦人會に入會を請ひ且其衷を述べて曰く妾不幸にして老年に至るも子をして國への御務はなさしむる能はず孫をして國への御役をなさしむる能はず眞に赤面の至りに堪へず聞く所によれば愛國婦人會なるものあり之に加入する時は婦女として御國に對する御務の幾分をなすを得ると願くば妾も此會に入り特別の事は爲し得ざるも一ヶ年一圓位は勤儉努力して婦人會へ納め微々たる滄海の一粟だけの御報恩を致す考なれば、宜しく御周旋に預り度との申出に付早速紹介申込候次第に付ては今後當町婦人龜鑑とも相成る美事と存候間本部幹事部へ申出たる次第に有之候也。

明治四十三年一月十三日

長野縣下

小縣郡幹事部委員大輪犬喜代

神奈川支部

◎從來會員送籍書の認め方一樣ならず、單に何市何町丈記入して送附せらるゝ事あるも、右は出入頻繁なる地及區域の廣濶なる地にありては、町名番地戶主續柄等明細記載せざれば取り扱ひ上至極困難なるに付き今後は成るべく詳細記入したき希望の趣、同支部事務員より申越されたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN